

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 清明会

社会福祉法人 清明会 令和4年度事業報告書

令和4年度 法人基本理念及び基本方針

基本理念

個人の尊厳を尊重し、平安な生活を提供します

基本方針

- 一． ご利用者お一人おひとりの意向に沿ったサービスの実現を目指します
- 二． ご家族と共に信頼にこたえる施設を目指します
- 三． 職員は一致協力し笑顔を持って、質の高いサービスの提供を目指します
- 四． 施設の専門性を活かし地域福祉に貢献します
- 五． 社会福祉の向上に根差した事業の継続を目指します

II . 法人状況

令和4年度の法人状況について、事業計画に掲げた清明園と浅川ホームの施設更新について計画通り無事故で完了することが出来ました。令和5年度に既存建物(東館A棟・B棟)の解体工事をもって、4ヶ年事業を終えることとなります。かねてより清明園の建て替えが、法人の継続そして発展の為の課題であった為、コロナ禍の大変な中で、このプロジェクトにご尽力を頂いた八王子市をはじめ、多くの方々に心より感謝申し上げます。今後は、法人創立100周年へ向けて、質の高いサービス提供を実践する為、『次世代人材の育成』を掲げて参ります。当年度は、法人が運営する介護保険事業部門で非常に低い利用率となり、収支状況もとても厳しい状況となりました。原因の分析と今後の対応策について、法人で一丸となって解決して参ります。人材の確保については、概ね雇用計画予定通りの採用を達成しましたが、体調を崩す職員が増えていることから、職員の健康管理について新たな取り組みを今後検討して参ります。2020年に受入れを開始した、インドネシアからの外国人技能実習生等10名うち4名が介護福祉士試験を受け、1名が合格しました。本人そして、サポートをしてくれた職員が本当に頑張って結果を出せた事に喜びを感じました。技能実習制度も今後新たな制度へ変更することが予定されていますが、引続き介護技術の継承を実施して参ります。災害対策としては、BCP(事業継続計画)の災害対策版に加えて、感染症対策版の整備を順次進めました。ご利用者への安全・安心なサービス提供の為に引続き緊張感をもって施設運営を実践して参ります。

【短期目標1年～3年】

① 清明園・浅川ホームの施設更新

状 況: 清明園の移転改築を完了し、7月1日より運営開始。浅川ホーム大規模改修工事は、10月4日に着工し、令和5年2月28日に工事が完了し、それぞれの施設でご利用者が新たな生活をスタートしました。

② 人材の定着と確保

状 況: 雇用計画に基づき、概ね予定通りの採用が出来ました。今後は、メンタルヘルスケアを含めた職員の健康管理にも注力します。

③ 外国人技能実習生へ能力継承

状 況: 技能実習生・特定技能計4名のうち、1名が介護福祉士試験に合格しました。新たに6名の技能実習生を採用し、4名がN3試験に合格しています。

④ 介護力の向上及び平準化

状 況: 技術力向上の為、対象職員に対し、喀痰吸引の座学研修を終了しています。コロナ禍で実地研修が出来なかった職員については、令和5年度に実施します。

⑤ 福祉資源を活用した地域貢献(新規事業の検討)

状 況: 新しい清明園では、地域の方々に地域交流スペースをご活用頂きました。

【中・長期目標4年～10年】

- ① 長舟園の大規模修繕
- ② 災害等軽減策の充実
- ③ 次世代人材の育成

状 況： 報告すべき事項はありません。

Ⅲ . 安全対策(安全衛生方針)

令和4年度は、清明園の移転と浅川ホームの大規模改修工事を予定しています。環境の変化に伴い例年以上に安全対策とメンタルサポートを徹底し、ご利用者への安全・安心・快適なサービスの提供と無事故に努めて参ります。

【重点対策】

- ① 職員全員でムリ、ムラ、ムダのない働きやすい職場環境をつくります。

状 況： 職員の個々の能力を把握し、適正な指示と配置を実施すること、また介護ソフトを活用し、効率的に業務を進める環境の整備に努めました。

- ② ご利用者の24時間を安全にサポートできる環境をつくります。

状 況： 多職種連携で、ご利用者の安心・安全な生活を提供しました。

- ③ 福祉機器の導入を積極的に行い、正しい操作手順を身につけます。

状 況： 介護補助具を活用し、介護職員の身体負担を軽減するように器具の使い方の研修等を適宜実施しました。

- ④ 労使間でのコミュニケーションにより、円滑な事業運営を目指します。

状 況： 挨拶・言葉遣いなどコミュニケーションの基本を大切に、お互いを尊重する明るい職場環境を構築することを心掛けました。

I . 施設目標

令和4年度の浅川ホームは大規模改修及び単独運営が始まる大切な年となります。運営面では事業を継続していく為、適正な運営管理に努め、災害対策を含めたBCPマニュアルや備蓄品等の見直し、安全対策の見直しに努めて参りたいと思います。サービス面では「ご利用者が生き活きと生活できる浅川ホーム」を目指し、個々のご利用者が施設内外を問わず、役割や生きがいを持てるよう、社会資源を活用しながら地域社会に共生できる事を長期目標に掲げ令和4年度はその礎となる大規模改修を無事に終わられるよう職員一致協力し、下記3つの施設目標へ取り組んで参りたいと思います。

令和4年① 職員が一致協力し大規模改修を無事に完了できるようにする。

状況:

朝礼時、日々の工事内容を確認し、ご利用者、職員の安全確保に努めた。また、法人職員の多大なる協力により、新館から東館への引っ越し、東館から新館への引っ越しを大きな事故なく終える事ができた。生活環境が大きく変化する中、ご利用者の安全に配慮し大規模改修を無事に終了できた。

② BCPマニュアルや安全対策等を単独運営に沿うよう見直す。

状況:

BCPマニュアルでは役割分担編成の修正を行った。大規模改修・単独運営に向けて業務の改善と見直しを行い、業務の確立に努めた。安全対策については、ミーティングや各会議などで、ご利用者の安心・安全に繋がる話し合いを行い大きな事故なく大規模改修を終えることができた。

③ ご利用者の自主性を引き出し、生き活きとした生活が送れるように支援する。

状況:

大規模改修に伴い限られた生活環境の中で、ご利用者と一緒に落ち葉清掃や外部への移動販売継続など安全に留意し取り組んだ。行事の司会や施設の清掃等、ご利用者が主体的に取り組まれるよう支援した。

II . 目標達成へ向けた取り組み

① 職員一人一人が大規模改修に向け役割を担い、自らが提案・発信し責任を持って大規模改修に取り組む。

改善等コメント:

単独運営・大規模改修を浅川ホームにとって大きな好機ととらえ、職員一人ひとりが役割について理解し責任ある行動ができるよう努める。業務の見直しを行い、新たな挑戦や変化にも柔軟さを持ってサービス向上に注力し、ご利用者・職員と共に生き活きとした環境づくりを目指す。

② 安全対策委員会を発足し多職種協働のもと、単独運営に沿ったBCPマニュアル等の見直しを行う。

改善等コメント:

大規模改修が無事終了し、今後の浅川ホームに即したBCPや各マニュアル整備を行っていく必要がある。

- ③ 敷地内にミニ農園を作り、ご利用者と共に野菜や花の栽培をすることで、生活の活力にして頂けるように支援する。

改善等コメント: ミニ農園は日々の楽しみと思ってもらえるよう積極的に取り組み、ご利用者と共に施設の環境整備を行っていく。また、自立支援・個別支援においても多職種協働し浅川ホーム全体で新たな挑戦を行い、ご利用者の生活の活力に繋がるよう努めたい。

Ⅲ . サービス計画

1 . 事務部門

① 経営(収支目標・稼働率目標)

収支目標	単独運営における支出管理を行い、適切な運営が行えるよう努める。	
	状況:	大規模改修工事に伴う支出と単独運営における費用の増加はある程度予測していたものの、光熱費・物価高騰により、支出が大幅に増加した。
	改善等コメント:	今後もしばらく光熱費の高騰が見込まれる為、使用量を職員に公開し、関心を深めていく。
稼働率目標	100%	
	状況:	稼働率98.8%だった。 月末退所が多く、待機者もいなかった為、月初に空所が出来てしまった。
	改善等コメント:	待機者確保のため、関係各所への積極的な連絡や訪問とショートステイから入所に繋がるよう働きかけていく。

② 人事(採用・教育(施設内外研修を含む)・実習受入)

採用	次世代の人材確保の為、大学や専門学校へ求人活動を行う。
----	-----------------------------

状況: 新型コロナウイルス感染症対策により、積極的な求人活動が出来なかった為、ハローワークやポスティングでの求人活動を行った。

外部研修	職員の経験に合った研修に参加し実践に活かせる体制を構築する。
------	--------------------------------

状況: 大規模改修工事に伴う引越し等で研修に充てる時間が少なかったが、Web研修を多く取り入れ知識を深めた。

内部研修	介護技術の向上と平準化を図り、要介護ニーズに備えていく。
------	------------------------------

状況: 新型コロナウイルス感染症対策による研修を優先した為、介護技術の研修は出来なかった。

実習受入	実習を通し養護老人ホームへの理解を深め、魅力を感じて頂き採用に繋げていく。
------	---------------------------------------

状況： 実習生の受け入れはできなかったが、東京造形大学の学生研究発表のため聞き取り調査の受け入れを行い、養護老人ホームの特色などを発信することができた。

③ 修繕計画

修繕計画	新館、食堂棟 大規模改修工事	
	状況：	新館は外壁塗装、屋上防水、給排水を上下水道に変更。2階清明園居室部分を会議室、作業室等へ変更。3階清明園居室(4人部屋)を個室へ改修。食堂棟は外壁塗装、厨房、中央食堂の大規模改修を実施した。

④ 防災

防災目標	浅川ホーム大規模改修工事に伴い消防計画、BCPマニュアル、避難確保計画の見直しを行う。			
	状況：	消防計画は浅川ホーム単独運営に伴い、見直しの実施。BCPマニュアルでは役割分担の編成を見直した。避難確保計画では受け入れ人数を変更した。		
訓練計画	4月	火災(日中)を想定した総合訓練	10月	火災(日中)を想定した避難訓練
	5月	初期消火、消火栓放水訓練	11月	発電機取り扱い訓練
	6月	災害を想定した避難誘導訓練	12月	火災(夜間)を想定した総合訓練
	7月	避難経路、消防設備確認訓練	1月	火災(日中)を想定した総合訓練
	8月	図上訓練	2月	BCP(大規模災害)初動訓練
	9月	ご利用者参加の図上訓練	3月	図上訓練

2. 介護部門

① 基本サービス提供目標

食事	ご自身で食事の準備が出来るよう、ピックアップ方式を取り入れご利用者の自立を目指し、食事時間も範囲内で自由に時間を選択出来るよう取り組んで行く。また、安心・安全な環境を提供する為に引き続き手指消毒と除菌マットによる消毒を行っていく。	
	状況：	新館引っ越し前に東館にて食事時間の2部制導入や喫食確認の方法等を検討し、引っ越し後は事故や混乱なく食事をする事ができた。また、ご自身で食事の準備をして頂くピックアップ方式を取り入れ自立支援へ繋げた。安心・安全な食事提供の為、ご利用者の手指消毒とマスク着用を徹底した。

排泄	プライバシーに配慮し個々にあった排泄ケアを行う。状態変化に合わせ見直しを行い、ご利用者が安心して頂けるようサポートしていく。	
	状況:	排泄係を中心にミーティング等を重ね、ご利用者個人の状態変化に合わせた排泄ケアの見直しに取り組んだ。
入浴	季節に合わせて入浴剤を変更し快適に入浴して頂く。ご利用者の日々の入浴状況を把握し、定期的に入浴をして頂くよう声かけを行い皮膚疾患等の感染症予防に努める。	
	状況:	季節ごとに入浴剤を変更し入浴を楽しんで頂いた。ご利用者の入浴状況を把握し、定期的な入浴の声かけを実施した。疥癬に感染したご利用者の早期発見と早急な対応を行い、感染拡大を防ぐ事に努めた。

② 生きがいサービス提供目標

目標	日常生活の中で役割を持ち、行事やクラブ活動でもご利用者が主体となり準備から進行等の取り組みを通し、生きがいに繋がるよう支援に努めていく。	
	状況:	クラブ活動は大規模改修に伴い、縮小した期間もあったが日常生活での環境整備や行事は、ご利用者主体で準備から進行を行うなど継続して実施できた。今後はご利用者一人ひとりにとって生きがいに繋がるよう支援に努める。

行事計画	4月	さくら祭り 近場鯉のぼりバスツアー	10月	大規模改修工事に伴う東館への引っ越しのため行事は中止
	5月	バーベキュー大会、お食事会 春の合同慰霊祭	11月	芋煮会、もみじ祭り、お食事会、 キャンドルナイト
	6月	園内ショッピング、浅川発表会、 浅川喫茶	12月	クリスマス、忘年演芸会
	7月	七夕まつり、盆法要、迎え火・ 送り火、盆踊りの練習	1月	新春ゲーム大会、歌い初め踊り初め
	8月	盆踊りの練習、納涼祭	2月	節分
	9月	長寿を祝う会	3月	春の彼岸法要

趣味活動計画	4月	毎月実施	10月	毎月実施
	5月	書道クラブ、ウォーキングクラブ、 フラワーアレンジメントクラブ、 手芸クラブムービークラブ、茶道クラブ	11月	書道クラブ、ウォーキングクラブ フラワーアレンジメントクラブ
	6月	器楽クラブ 歌声喫茶クラブ、 ダンスクラブ、コーラスクラブ、	12月	ムービークラブ、茶道クラブ 器楽クラブ、歌声喫茶クラブ
	7月	元気はつらつクラブ (7月コーラス・歌 声喫茶・フラワーアレンジメント・元気は つらつ・ダンス・手芸・ウォーキング9月 コーラス・手芸・歌声喫茶・フラワーア レンジメントのみ行う)	1月	ダンスクラブ、コーラスクラブ 元気はつらつクラブ、手芸クラ ブ(引っ越し準備に伴いクラブ 縮小あり)
	8月		2月	
	9月		3月	

③ 安全への取組

取組内容	職員一人一人が当事者意識を持ち、事故予防対策の取り組みを行い、情報共有の強化と問題解決に向け体制構築をする。また、安全配慮によりご利用者の自立した生活の妨げにならないよう努める。
	<p>状況：</p> <p>事故予防対策は、日頃より起こり得る危険リスクの情報共有を行い、ご利用者へお知らせするなどの取り組みを行った。ご利用者に協力いただくことや不便な状況もあったが、大きな事故なく大規模改修を終えることができた。</p>

3. 看護部門

① 健康管理

健康管理目標	職員が基本的感染対策を理解し、ご利用者自身も感染予防に取り組めるように努める。	
	状況：	ご利用者が日々感染対策を意識する様に声かけした。
	ご利用者の状態を把握し職員間で情報共有を行い健康管理に努める。	
	状況：	ミーティング時、ご利用者の言動・行動の気づきを共有し健康管理に努めた。

② 機能訓練

機能訓練目標	浅川ホーム単独運営に伴い、施設内の空地を利用し浅川ミニ農園や散歩コースを設置し、ご利用者が生き生きと活動できるよう支援する。	
	状況：	浅川ミニ農園はご利用者が管理しやすいようプランターで育成し、散歩コース設置については東館解体後、安全面に配慮し検討する。
	ラジオ体操やクラブ活動を継続し運動機能維持向上を目指す。	
	状況：	大規模改修に伴い、一定期間活動を中止したクラブもあったが、その他のクラブ活動やラジオ体操は実施し運動機能維持向上に繋げた。

4. 栄養部門

① 基本食事サービス

基本食事サービス目標	単独運営に向けて厨房業務に携わる職員への衛生指導を徹底し、安心・安全な給食の提供を行う。	
	状況:	新入職者へ衛生講習会を実施した。 仮設厨房稼働の際も安全な食事提供を行った。
	疾病があるご利用者、嚥下や咀嚼困難、アレルギーがあるご利用者に対し、多職種で協働し適切な食事の提供を行う。	
	状況:	ご利用者の状態により、多職種と協力し個別に対応を行った。

② 特別(行事等)食事サービス

基本食事サービス目標	自立支援に繋がる、ご利用者の希望や能力に応じた行事・イベント食を実施する。	
	状況:	2月の節分の際には衛生面に配慮しながら手巻き寿司を行い、ご自分で作る楽しさを感じていただけた。大規模改修中により、イベント食の回数が少なかったが、次年度は実施できるよう努める。

【養護老人ホーム 浅川ホーム】

【利用者状況】

① 【月初在籍人数】

定員：60名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均	
令和4年	令和2年度	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60.00
	令和3年度	60	59	60	59	60	60	60	60	60	60	58	60	59.67	
	令和4年度	60	60	59	60	59	60	60	59	59	58	58	60	59.33	
	月平均	60.00	59.67	59.67	59.67	59.67	60.00	60.00	59.67	59.67	59.33	58.67	60.00	59.67	

② 【要介護者及び障害者加算対象者利用者状況】

介護度	性別	令和4.4.1現在人員			入所者		退所者		令和5.3.31現在人員		
		男	女	計	男	女	男	女	男	女	計
障害者		6	14	20					7	15	22
非該当		6	9	15					6	8	14
要支援1		1	3	4					1	1	2
要支援2		2	0	2							0
要介護1		4	7	11	4	3	4	3	4	8	12
要介護2		2	4	6						3	3
要介護3		0	1	1					1	2	3
要介護4		0	1	1					2	1	3
要介護5										1	1
計		21	39	60	4	3	4	3	21	39	60

③ 【ご利用者の年齢状況】

令和5.3.31現在

性別	年齢	~59才	60~64才	65~69才	70~74才	75~79才	80~84才	85~89才	90~94才	95~99才	100~104才	105~	計	平均年齢
		男			2	4	6	2	7					
女			1	4	4	15	9	1	5				39	83才
計		0	0	3	8	10	17	16	1	5	0	0	60	81才
%		0.0	0.0	5.0	13.3	16.7	28.3	26.7	1.7	8.3	0.0	0.0	100.0	—

最高年齢 男性 89才
女性 98才

④ 【ご利用者の入所市区別状況】

令和5.3.31現在

性別	保険者	港区	文京区	品川区	中野区	世田谷区	世田谷区	板橋区	杉並区	北区	練馬区	新宿区	豊島区	墨田区	目黒区	八王子市	昭島市	小平市	日野市	国立市	調布市	北杜市	羽村市	世田谷区玉川	練馬区光が丘	練馬区石神井	葛飾区	計
		男		3	2	1					1	1	2		1		4						1				2	2
女				8	1			1	1	5	1	1	1	1	15						2			1	1			39
計		3	2	9	1	0	0	1	2	6	0	3	1	2	19	0	0	0	0	0	3	0	0	1	3	2	1	60

【養護老人ホーム 浅川ホーム】

⑤ 【退所状況】

月 退所理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
死亡(看取り)													0
死亡(入院)	1	1	0	2					1				5
長期入院							1						1
他施設													0
在宅													0
その他							1						1
計	1	1	0	2	0	0	2	0	1	0	0	0	7

⑥ 【介護保険外部サービス利用状況】

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期計	
種別:人数:回数	実人数	延回数	実人数	延回数	実人数	延回数	実人数	延回数	実人数	延回数	実人数	延回数	実人数	延回数
デイサービス	10	15	10	71	10	76	9	76	4	30	5	25	48	293
身体介護	8	83	8	95	9	99	9	82	11	126	11	129	56	614
計	18	98	18	166	19	175	18	158	15	156	16	154	104	907
月	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度計	
種別:人数:回数	実人数	延回数	実人数	延回数	実人数	延回数	実人数	延回数	実人数	延回数	実人数	延回数	実人数	延回数
デイサービス	2	2	12	65	12	28	11	47	9	56	9	44	103	535
身体介護	7	63	8	84	8	72	7	48	5	42	7	69	98	992
計	9	65	20	149	20	100	18	95	14	98	16	113	201	1,527

⑦ 【行事活動報告】

月 行事内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外出支援	47	57	54	57	57	59	14	48	37	44	40	41	555
外部食事会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防活動	893	1,019	1,026	1,091	1,154	1,020	957	934	1,147	867	1,654	1,043	12,805
地域交流行事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
													0
													0
計	940	1,076	1,080	1,148	1,211	1,079	971	982	1,184	911	1,694	1,084	13,360

⑧ 【面会状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
令和2年度	3	0	6	1	1	5	2	6	0	0	1	1	26
令和3年度	0	0	0	1	0	2	0	3	2	5	0	0	13
令和4年度	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	4
月平均	1	0	2	2	0	2	1	3	1	2	0	1	14

※ 延べ来園者数

※ リモート面会含む

【養護老人ホーム 浅川ホーム】

⑨ 【事故報告書(ヒヤリハット含む)】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
発生種別													
転落・転倒		1	1	1		1		1			1	1(1)	7(1)
徘徊													
皮下出血・皮膚剥離											1		1
裂傷・骨折	1(1)						1(1)		1			1(1)	4(3)
自傷・他害行為													
配薬ミス									3	1			4
誤薬		2			1(1)	1(1)							4(2)
異食											1		1
誤嚥													
紛失													
器物破損													
その他							1(1)						1(1)
計	1(1)	3	1	1	1(1)	2(1)	2(2)	1	4	1	3	2(2)	23(7)

※事故報告として市区町村へ届出たものについては()表示、詳細については別紙1に記載

⑩ 【嘱託医による診療実績】

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	92	42	100	50	97	50	154	52	49	49	101	50	593	293
外科	2	1	2	1	2	1	2	1	0	0	0	0	8	4
整形外科	33	18	27	14	24	14	43	15	15	15	30	16	172	92
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	4	3	0	0	2	1	3	2	0	0	1	1	10	7
皮膚科	12	7	12	7	10	5	16	6	6	6	11	6	67	37
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	4	2	3	2	2	1	3	1	2	2	2	1	16	9
精神科	29	28	3	2	32	31	33	30	32	32	34	32	163	155
神経科	4	2	10	5	9	5	16	6	4	4	10	5	53	27
													0	0
歯科													0	0
その他													0	0
合計	180	103	157	81	178	108	270	113	108	108	189	111	1,082	624
区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	99	50	91	43	93	45	93	47	93	46	95	50	1,157	574
外科							1	1					9	5
整形外科	27	14	30	15	26	11	28	14	27	13	24	14	334	173
耳鼻咽喉科													0	0
眼科	2	2	2	2			2	2			2	1	18	14
皮膚科	11	9	11	6	8	5	7	5	5	3	9	5	118	70
婦人科													0	0
泌尿器科	2	1	2	1	3	2	4	2	4	2	3	2	34	19
精神科	31	31	30	30	32	32			29	29	28	21	313	298
神経科	7	4	7	3	2	1	6	5	6	3	8	4	89	47
歯科													0	0
その他													0	0
合計	179	111	173	100	164	96	141	76	164	96	169	97	2,072	1,200

【養護老人ホーム 浅川ホーム】

⑪ 【医療機関での診療状況:通院】

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	5	4	2	1	3	2	5	4	7	5	1	1	23	17
外科	1	1	3	2	4	2	3	1			1	1	12	7
整形外科	3	2	1	1			1	1	1	1			6	5
耳鼻咽喉科													0	0
眼科	1	1							2	1	1	1	4	3
皮膚科									3	3	2	2	5	5
婦人科					2	1	2	1					4	2
泌尿器科													0	0
精神科	3	3	3	3	4	4	1	1	2	1	1	1	14	13
神経科			2	1	1	1							3	2
歯科	29	13	35	12	33	12	32	11	46	13	32	12	207	73
その他													0	0
合計	42	24	46	20	47	22	44	19	61	24	38	18	278	127
区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	5	4	3	3	1	1							32	25
外科	2	1	1		4	3	1	1			1	1	21	13
整形外科	2	2		1	3	2	3	3	4	4	1	1	19	18
耳鼻咽喉科													0	0
眼科			2	1									6	4
皮膚科			3	2	1	1	1	1			9	5	19	14
婦人科													4	2
泌尿器科									1	1			1	1
精神科	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	21	20
神経科													3	2
歯科	33	14	46	11	34	10	33	13	28	13	37	13	418	147
その他			1	1	1	1	1	1	1	1			4	4
合計	44	23	57	20	45	19	40	20	35	20	49	21	548	250

⑫ 【医療機関での診療状況:入院】

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	2	2	1	1			1	1	1	1	1	1	6	6
外科													0	0
整形外科					1	1							1	1
耳鼻咽喉科													0	0
眼科													0	0
皮膚科							1	1					1	1
婦人科													0	0
泌尿器科													0	0
精神科					1	1			1	1			2	2
神経科													0	0
歯科													0	0
その他													0	0
合計	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	10	10
区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	2	2	1	1	2	2	2	2	2	1	4	4	19	18
外科													0	0
整形外科	3	3			1	1	2	2					7	7
耳鼻咽喉科													0	0
眼科									2	1			2	1
皮膚科													1	1
婦人科													0	0
泌尿器科													0	0
精神科			1	1			1	1					4	4
神経科									1	1			1	1
歯科													0	0
その他													0	0
合計	5	5	2	2	3	3	5	5	5	3	4	4	34	32

2【職員状況】

①【職員数】

雇用形 職種	令和4.4.1の職員数				令和4年度入退職状況							令和5.3.31の職員数									
	正職員	有期契約職員			実人員計	正職員	有期契約職員				入退職者差引計	①正職員	有期契約職員			実人員計 (①+②+③+④)	常勤換算 (①+⑤)				
		準職員	非常勤職員	派遣職員			準職員	非常勤職員		派遣職員			②準職員	③非常勤職員	④派遣職員			⑤常勤換算			
								入職	退職	入職									退職	入職	退職
施設長	1				1											1	1.0				
相談員	3				3											3	3.0				
支援員	6	1			7	3	2		1							7	7.0				
看護師	1				1											1	1.0				
栄養士	1				1											1	1.0				
調理員	1		1		2		1			1						0	0.0				
事務員	1	1			2		1									1	1.0				
嘱託医			1		1								1	0		1	0.0				
宿直員					0				2							2	1.0				
					0											0	0.0				
					0											0	0.0				
					0											0	0.0				
					0											0	0.0				
					0											0	0.0				
					0											0	0.0				
計	14	2	2	0	18	3	4	0	1	2	1	0	0	-1	13	1	3	0	2.0	17	15.0

※常勤換算は3月末時点の数字である。

②【職員研修】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外・内研修													
外部研修参加人数	1	1									1		3
Web研修参加人数				1	1	2		1	3	2	1		11
内部研修参加人数	5	12				11		8					36
計	6	13	0	1	1	13	0	9	3	2	2	0	50

③【防災訓練】

月	訓練内容	参加人数	月	訓練内容	参加人数
4月	火災(日中)を想定した総合訓練	2	10月	火災(日中)を想定した避難訓練	15
5月	初期消火、消火栓放水訓練	2	11月	発電機取り扱い訓練	10
6月	災害を想定した避難誘導訓練	1	12月	火災(夜間)を想定した総合訓練	6
7月	避難経路、消防設備確認訓練	2	1月	火災(日中)を想定した総合訓練	47
8月	図上訓練	13	2月	BCP(大規模災害)初動訓練	5
9月	ご利用者参加の図上訓練	11	3月	図上訓練	5

I . 施設目標

令和4年度長舟園は「誠・和・育」を3つの目標として掲げて取り組んで参ります。昨年度は、災害対策や感染症対策などを施設の重点課題として、BCP(事業継続計画)を見直し、災害と感染症それぞれの委員会を発足し内容の更新を実施しました。令和4年度も引き続き、職員全員でBCPの重要性を周知徹底し、安心・安全な施設運営を行って参ります。また、ご利用者の健康観察により一層注力し、穏やかな生活が送れるように多職種連携で取り組んで参ります。その為には、職員が和をもってサービスの向上に努めます。地域貢献については、地域ニーズの声を聞き、長舟園にできることを検討、実施して参ります。外国人技能実習生については、第2期生の受入れと職員のスキルアップの為、職員育成体制の構築に努めます。今まで以上にご利用者に対して、また仲間に対して真摯に向き合い、他者に対して誠実であることを目標に清潔かつ明朗な長舟園を目指します。

令和4年① 人材確保と育成体制構築に向けて取り組みます。

状況:

5月に入職した技能実習生4名は、アセッサー職員の指導を受け、12月技能実習評価試験初級試験に全員合格が出来ました。6月、9月、12月採用の新人介護職員は先輩職員の指導のもとに夜勤業務まで勤務できました。技能実習生の育成体制と新人職員の計画的な育成体制が実践できました。10月1日よりフロアマネージャーが配属されました。次年度は各フロアーの状況を把握しながら、連携をとり人材確保と人材育成に取り組めます。

② 施設の社会資源を活用し、地域福祉に貢献します。

状況:

新型コロナウイルス感染症第8波の流行があり、地域福祉の具体的な活動は実施できませんでした。八王子市高齢者あんしん相談センター長房より、3月に長房中学校にて認知症サポーター養成講座への参加要請がありましたが、新型コロナウイルス感染症流行により辞退いたしました。同じく3月に地域ケアマネ会の事例検討会へ参加し、地域のケアマネージャーや高齢者あんしん相談センターの職員との交流、情報交換を行いました。

③ 喀痰吸引等研修に取り組みます(第2号研修修了者増員)。

状況:

喀痰吸引研修は実地研修を残すのみとなっています。実習先が決まらず、修了書の発行が待たれます。次年度にむけて5月から9月に法人内10名の職員の実地研修先が決まりました。感染症対策を講じて実地研修の終了を目指します。

II . 目標達成へ向けた取り組み

① 職員採用に向け、アピールできる教育体制を職員と共に構築します。職員の声を聞き働きやすい職場づくりに取り組みます(有給取得、介護福祉機器導入、資格取得サポート等)。

改善等コメント:

職員教育においては、介護、看護、生活相談員、事務、清掃、洗濯などがそれぞれチームのマニュアルを持ち、個別に指導、育成にあたります。それぞれの個性を活かせるように、進み具合の確認を行いながら無理せず進めています。風通しの良い、働きやすい職場を目指し、職員の声を聞き対応を行っています。心配事、相談事がある時は、管理職が時間を置かずに対応と検討を行っています。この実績を職員採用に向けてアピールしていきます。
”介護とはご利用者の24時間を支援すること”職員は介護の専門職業人として自覚を持って勤務できることを念頭に職員を育成しています。

- ② 地域住民を含めた施設説明会の実施や高齢者サロンへの参加等により地域の実情を把握し、地域の福祉事業所への発信や連携も行いながら、地域ニーズに応じて参ります。

改善等コメント: 地域福祉については、次年度は、具体的な活動を検討しながら、近隣の八王子市高齢者あんしん相談センター長房と連携し、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、地域福祉への活動(発信や関りができるか)を検討及び実施していきます。

- ③ 喀痰吸引は、長舟園21名の受講を目指します。実地研修は外部機関での実地研修となる為、関係機関と連携を密にとり、職員の健康管理に留意し、感染症対策を講じて研修修了を目指します。

改善等コメント: 喀痰吸引研修の実地研修対象者は長舟園18名です。5月から9月に5名実地研修に参加します。4日間の研修(口腔吸引・鼻腔吸引・胃ろう(滴下+半固形))となります。個人衛生に留意し研修修了を目指します。

Ⅲ . サービス計画

1. 事務部門

① 経営(収支目標・稼働率目標)

収支目標	水道光熱費の使用量のコントロール、消耗物品等の節減を目指し、予算執行管理を徹底します。	
	状況:	水道光熱の使用量について、前年度より電気は微増、ガスは微減ながらも、電気・ガスの急激な使用単価高騰により、ともに支出が前年度比148%程度と、支出の増加の主な要因となっています。稼働率の低さからも、収入面でも介護保険事業収益が前年度より2%近く下回っています。
	改善等コメント:	水道光熱費以外でも、物価高騰による支出増が懸念されます。水道光熱の使用量や、消耗品等の節減の意識がけを行ってまいります。
稼働率目標	98%	
	状況:	年間の平均利用率は、93.75%、新規入居者は46名、退去者は52名でした。又、年間の入院者は、延べ1,821名、1日の平均入院者は4.99名/日で、令和3年度と比較して約1.4倍でした。ご利用者は体調を崩され入退院が多く、入所期間が短期となる傾向があります。
	改善等コメント:	今年度は、入居者よりも退去者の方が多く、常に空床がある状況でした。又、新型コロナウイルス感染症予防のため、入居前のPCR検査の実施を継続しており、入居までの日数を要している現状があります。来年度は、入居前の検査については、新型コロナウイルス感染症の状況や病院等での検査の実施状況を踏まえて対応をしていき、今までより入居までの日数がかからないようにしていきます。又、八王子市内の病院、老健、居宅介護事業所等に入居案内を行い、さらに八王子市以外の区市町村にも入居案内を行い、入居申込の増加と入居待機者の確保に努めます。

② 人事(採用・教育(施設内外研修を含む)・実習受入)

採用	各機関のオンラインを含めた就職説明会などへ積極的に参加し、採用に繋がります。また法人として見学会を開催し新卒者など採用に繋がるよう企画します。	
	求人者に興味を持っていただけるようホームページの充実を目指します。	
	状況:	全期を通して退職者常勤(介護6名)6名、非常勤(介護1名、運転1名、総務1名、清掃2名)5名 総数11名、入職者常勤(介護8名、看護1名)9名、技能実習生4名、非常勤(介護1名、総務補助2名)3名 総数16名 採用の多くはハローワーク、ホームページ、紹介会社より1名の採用となりました。次年度はホームページの充実と施設の宣伝広告活動を継続して取り組みます。
外部研修	感染症対策に留意し、施設内でのオンライン研修を継続します。	
	状況:	外部研修(オンライン)研修は個別研修で取り組みました。栄養ケア・マネジメント、加算マネジメント、認定調査現任研修、褥瘡対策、口腔ケア・排泄ケア、生活相談員研修、災害に関する研修、認知症の方への食事支援、看護実務者研修他 外部研修には喀痰吸引実地研修に3名、国際福祉機器展に1名、BCP実践講座1名多職種で研修に参加できました。
内部研修	感染症対策(3密を考慮)を実施し、施設内研修に取り組みます。	
	状況:	施設内研修は担当者が資料作成し、各ユニットで各自職員が研修する形式、後期は看取り介護研修(エンゼルケア、救急対応)、虐待防止研修(虐待の芽チェックシート)、身体拘束廃止に向けた研修、薬事故防止に向けた研修、事故・ヒヤリ区分票の把握研修等、日々介護職員が興味を持った研修や職員の周知徹底をはかるための研修項目を実施しています。
実習受入	社会福祉相談援助実習他、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、実施して参ります。	
	状況:	今年度は、感染予防の為、中学生と高校生の受け入れは見合わせ、大学生以上の方を対象としました。社会福祉実習を下半期に3名受け入れ、合計で5名の受け入れ、3月にインターンシップの学生を1名3日間受け入れました。卒業後は介護を目指している方で、実際の施設を知ることができ、より具体的に将来を考えることが出来たと感想を聞くことができました。今後も高齢者施設で生活されているご利用者とそこで働いている介護職員を見て感じて頂きたい。感染症対策を講じて多方面からの実習を受け入れていきます。

③ 修繕(保守)計画

保守計画	天井カセット型・気化式加湿器用エレメント(フィルター)の交換を行います。	
	全館空調機のフィルター洗浄と清掃を行い、必要に応じて更新を行います。	
	全館設備関係の定期点検計画を遵守し、故障時には速やかに対応します。	
	状況:	加湿器用エレメント(フィルター)交換劣化している物は全て取替ました。空調機フィルター清掃は、3ヶ月に1回のペースで行いました。

④ 防災

防災目標	災害時に、ご利用者と自身の安全確保を出来るように訓練を行います。	
	状況:	自然災害、地震などが増えてきている為、地震時の訓練を少しずつ増やし訓練を通じて実際に災害が起きた時、ご利用者の安全と自分自身の安全を守るための訓練をしています。

訓練計画	4月	火災発生時の避難誘導と初期消火	10月	地震発生時の避難誘導と自身の安全確保
	5月	土砂災害時の適切な避難誘導	11月	敷地内に不審人物が侵入した時の対処法
	6月	地震発生時の避難誘導と自身の安全確保	12月	夜間火災時の避難誘導と初期消火
	7月	敷地内に不審人物が侵入した時の対処法	1月	火災発生時の避難誘導と初期消火
	8月	火災発生時の避難誘導と初期消火	2月	地震発生時の避難誘導と自身の安全確保
	9月	土砂災害時の適切な避難誘導	3月	夜間火災時の避難誘導と初期消火

2. 介護部門

① 基本サービス提供目標

食事	ご利用者の状態に合わせた食事形態で、安全で楽しい食事時間を提供します。	
	状況:	ご利用者の状態に合わせた食事形態で提供し、安全に食事摂取が来ています。変わり献立では麺類・丼もの・お刺身・お寿司を提供し、喜ばれております。
排泄	羞恥心や衛生面に考慮し、安心できる排泄ケアを実施します。	
	状況:	ご利用者の尊厳を尊重し排泄介助を行いました。排泄の訴えには速やかに対応し、その方のパターンを把握しお肌のトラブル等無い様対応しました。
入浴	毎回楽しみになるような、リラックスできる入浴時間を提供します。	
	状況:	ご利用者の状態に合わせた入浴方法で好みの温度や入浴剤を準備して対応しました。浴室内・脱衣場の温度に配慮し、安心してリラックスできる環境を整え入浴できました。

② 生きがいサービス提供目標

目標	感染症対策を行いながら、その中で可能な余暇活動の実施、ご利用者の暮らしをサポートします。			
	状況:	感染症対策を講じて、令和4年11月対面での面会を行いました。ご利用者・ご家族の不安を取り除く事ができました。その後もオンライン面会を実施しています。余暇活動では、レク用品を増やしユニット内の活動に力を入れ皆様と楽しむ事が出来ました。		
行事計画	新型コロナウイルス感染状況を見極めながら、お花見、バスハイク、お買い物会、喫茶等、ご利用者の皆様が楽しめる活動を行って参ります。日々の生活の中では、レク用品の充実を図り、ユニット内で出来る少人数のレクリエーション、毎週余暇活動委員会を継続して行います。			
状況:	感染対応を行いながらの活動も3年近くの期間となり、毎日時間を見つけてレク活動やベランダ散歩を行うユニットもあります。短い時間でもご利用者が楽しめる活動を生活の中に取り入れることが出来ていると感じます。レク用品も手元にあるとすぐに実施が可能となるため、カラオケやDVD、絵合わせカードを各ユニットに一定期間置き、巡回を行いました。余暇活動のお芋ほりは、ゲームとおやつ焼き芋を合わせ、掘ったサツマイモを楽しむ流れがとても好評でした。			
ユニット活動	4月	花見 間違い探し	10月	お芋ほりと焼き芋を食べる
	5月	新緑観賞 塗り絵	11月	ボーリング
	6月	貼り絵 野菜の収穫ゲーム	12月	クリスマス会 風船バレー
	7月	七夕飾り付け 輪投げ	1月	書初め かるた
	8月	ビデオ視聴会	2月	節分豆まき
	9月	長寿お祝 ボーリング	3月	ひな祭り お花見

③ 安全への取組

取組内容	ご利用者の行動等の変化にいち早く気付き、チームで未然に事故を防ぎます。		
	状況:	日々の状態を把握することにより変化に気付き、早めに対応する事で未然に事故を防ぎました。	
	事故再発防止検討委員会を通し、事故の防止に努めます。		
	状況:	薬の事故が減らず、委員会やユニット会議で発信する事により一時的に減らすことが出来ました。基本である”確認”を周知徹底します。	
	福祉機器を正しく活用し、ご利用者と職員共に安心できるケアを実施します。		
状況:	腰部サポートウェア、スライドシート、スライドボード、介護リフト等を活用する事により、ご利用者、職員共に負担が少なく安全にケアを行う事が出来ました。		

3. 看護部門

① 健康管理

健康管理目標	ご利用者及び職員の健康管理に留意し、新型コロナウイルス感染症対策を中心とした感染予防に努めます。	
	状況:	感染症の有症状者には、医師と連携をとり必要な検査を実施し、感染予防に努めました。
	投薬の基本を遵守し、ご利用者の安全管理に最大限の注意を払います。	
	状況:	誤薬や落薬が起こらないように、看護職員と介護職員間での連携を強化し、確認の徹底に努めました。

② 機能訓練

機能訓練目標	長舟園での生活がより満足できるよう、個々の趣向を活かした機能訓練計画の立案と実行に努めます。	
	状況:	ご利用者、ご家族との会話を活かし、その方のニーズを見つけながら個別機能訓練計画に反映できるよう努めました。また、生活リハビリと集中的な機能訓練を併用することで、自主訓練を行うことができるようになった方も見られました。
	褥瘡防止対策委員会、余暇活動委員会、介護力向上委員会に機能訓練専門職として積極的に関わり、ご利用者のQOL(生活の質)の向上に努めます。	
	状況:	褥瘡予防に努め、看護職員と皮膚状態の確認を行いながら、迅速な物品調整と提供に努めました。余暇活動参加ではレクリエーション用品の制作、当日の準備、進行を行い、ご利用者に喜んで頂けました。運動用のDVDは各ユニットで習慣的に活用して頂けています。

4. 栄養部門

① 基本食事サービス

基本食事サービス目標	個々の身体状況に合わせた栄養ケア計画書を多職種協働で作成し、ご利用者の健康維持の一助になるよう取り組みを継続して参ります。	
	状況:	定期見直しのプラン以外にも褥瘡や看取り対応者のニーズを多職種で確認し、栄養ケア計画書を作成しました。
	防災用備品及び非常食、飲料水等の整備、点検等の管理に努めます。	
	状況:	非常食や防災用備品の内容を確認し、更新の時期を検討しました。
	LIFE(科学的介護情報システム)に沿った栄養ケアを実践する為、提供栄養量等を個別に把握し、ご利用者の栄養状態の改善に努めます。	
	状況:	高カロリーの補食や処方のあるご利用者も個別に把握し、より充実した栄養ケアが実践できるよう努めました。

② 特別(行事等)食事サービス

基本食事サービス目標	安全に配慮しながらできるだけ常食に近い形態で見た目から食事を楽しんでいただけるような特別食事サービスの提供に努めます。	
	状況:	安全で見た目からも楽しんで頂けるよう食形態ごとに対応できるデザートを選択食を行いました。

【特別養護老人ホーム 長舟園】

1【利用者状況】

①【稼働率:3ヶ年推移】

定員:160名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
令和2年度	98.02	96.07	96.85	96.96	97.00	97.10	98.02	96.38	96.67	97.76	95.98	96.85	96.97
令和3年度	97.88	98.19	97.85	97.36	97.32	97.48	96.05	96.04	96.69	96.07	94.17	96.31	96.78
令和4年度	97.44	93.59	92.10	93.63	92.76	94.08	94.35	94.29	92.46	90.67	94.46	95.14	93.75
月平均	97.78	95.95	95.60	95.98	95.69	96.22	96.14	95.57	95.27	94.83	94.87	96.10	95.83

※上記稼働率は、空床短期入所を含む。

②【介護度別利用者状況】

性 介護度	令和4.4.1現在人員			入所者		退所者		令和5.3.31現在人員		
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	計
非該当										0
要支援1										0
要支援2										0
要介護1	1	1	2	14	10	7	23	1	1	2
要介護2	3	5	8					4	5	9
要介護3	10	22	32					12	21	33
要介護4	13	51	64					18	37	55
要介護5	8	44	52					7	46	53
計	35	123	158	14	10	7	23	42	110	152
平均介護度	3.69	4.07	3.99					3.62	4.11	3.97

③【ご利用者の年齢状況】

令和5.3.31現在

年 性別	~59才	60~ 64才	65~ 69才	70~ 74才	75~ 79才	80~ 84才	85~ 89才	90~ 94才	95~ 99才	100~ 104才	105~	計	平均年齢
	男	2	1		3	7	9	12	4	4			42
女				1	4	7	41	29	22	5	1	110	91才
計	2	1	0	4	11	16	53	33	26	5	1	152	89才
%	1.3	0.7	0.0	2.6	7.2	10.5	34.9	21.7	17.1	3.3	0.7	100.0	—

最高年齢 男性 102 才
女性 95 才

④【ご利用者の入所市区別状況】

令和5.3.31現在

保険 性別	港区	文京区	品川区	目黒区	大田区	世田谷区	板橋区	杉並区	北区	練馬区	新宿区	八王子市	立川市	昭島市	日野市	多摩市	小金井市	大月市	調布市	武蔵野市	千葉市	横浜市	寒川市	中野区	相模原市	取手市	計
	男			1					1				35	1		2								1	1		
女				2		2	1	3	1			94		2	1					1	1				1	1	110
計	0	0	1	2	0	2	1	4	1	0	0	129	1	2	3	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	152

【特別養護老人ホーム 長舟園】

⑤ 【退所状況】

月 退所理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
死亡(看取り)	2	7		1		3	2	8	4	1	0	3	31
死亡(入院)	1						1	1	1	1	4	1	10
長期入院	1		3	1	1		2	0	0	1	0	0	9
他施設					1	1	0	0	0	0	0	0	2
在宅							0	0	0	0	0	0	0
その他							0	0	0	0	0	0	0
計	4	7	3	2	2	4	5	9	5	3	4	4	52

⑥ 【外泊状況】

月 外泊先	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子供宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
兄弟宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
孫宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
親類宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友人宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 【事故報告書(ヒヤリハット含む)】

月 発生種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転落・転倒	34	35	28	35	29	28	38	39	37	49	71	44	467
徘徊	0	0	0	0	28	0	0	0	9	0	0	1	38
皮下出血・皮膚剥離	61	54	43	58	53	50	49	36	46	42	36	45	573
裂傷・骨折	0(1)	0(2)	0(1)	0(2)	0	0	0(2)	0(1)	0	0(1)	0(1)	0(1)	0(12)
自傷・他害行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
配薬ミス	9	6	4	3	3	8	3	5	3	6	5	7	62
誤薬	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
異食	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6
誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
紛失	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
器物破損	2	0	0	1	0	0	1	3	2	3	1	0	13
その他	11(1)	14	8(1)	7(1)	7(4)	7	12	6	7	9	14	13	115(7)
計	120(2)	110(2)	85(2)	106(3)	120(4)	94	104(2)	89(1)	105	110(1)	127(1)	111(1)	1281(19)

※事故報告として市区町村へ届出たものについては()表示、詳細については別紙1に記載

【特別養護老人ホーム 長舟園】

⑧ 【面会状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
令和2年度	14	47	199	142	32	64	31	123	90	14	24	19	799
令和3年度	26	98	37	66	17	40	73	93	45	74	36	52	657
令和4年度	77	83	55	61	48	96	88	223	37	46	32	28	874
月平均	39	76	97	90	32	67	64	146	57	45	31	33	777

※ 延べ来園者数

※ リモート面会含む

⑨ 【機能訓練回復状況】

月 訓練内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実人数	延人数
生活リハビリ	16	35	64	22	33	11	11	35	31	24	28	48	67	358
機能訓練・マッサージ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価	83	183	78	70	58	82	72	107	77	84	87	71	198	1,052
介助・訓練方法指導	10	4	7	6	28	4	13	1	2	15	3	4	33	97
趣味的活動	3	12	27	6	9	4	3	6	2	1	6	4	35	83
福祉用具対応	35	30	35	29	28	23	27	36	34	27	27	37	142	368
その他	25	29	50	34	22	21	30	13	12	4	13	11	72	264
														0
														0
計	172	293	261	167	178	145	156	198	158	155	164	175	547	2,222

【特別養護老人ホーム 長舟園】

⑩【嘱託医による診療実績】

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	218	154	123	108	209	150	171	145	195	145	191	145	1,107	847
外科	0	0	1	1	3	3	2	2	0	0	2	2	8	8
整形外科	22	18	12	12	32	24	16	16	24	21	18	18	124	109
耳鼻咽喉科	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2
眼科	36	26	15	14	32	24	25	25	15	14	23	20	146	123
皮膚科	81	72	59	57	71	63	57	56	73	68	82	65	423	381
婦人科	3	3	0	0	4	4	5	5	5	5	4	4	21	21
泌尿器科	16	13	6	5	22	15	11	11	18	15	18	16	91	75
精神科	63	49	30	30	67	52	46	46	56	51	54	50	316	278
神経科	43	34	21	21	45	35	34	34	34	32	38	34	215	190
おおい歯科	14	9	27	13	45	19	31	14	23	12	30	15	170	82
恩方病院	28	14	27	14	23	12	22	11	22	12	22	11	144	74
合計	524	392	322	276	554	402	420	365	465	375	482	380	2,767	2,190
区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	215	149	170	138	185	140	156	143	170	144	206	149	2,209	1,710
外科	1	1	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	15	15
整形外科	23	19	16	16	19	18	16	16	20	19	21	19	239	216
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	3
眼科	22	21	24	24	25	24	23	23	25	24	36	29	301	268
皮膚科	88	72	67	62	66	58	63	59	58	54	64	58	829	744
婦人科	5	5	5	5	4	4	4	4	3	3	5	4	47	46
泌尿器科	19	17	15	15	18	17	20	18	14	14	27	21	204	177
精神科	54	48	49	48	58	55	52	52	57	57	73	56	659	594
神経科	38	34	28	27	30	28	29	52	27	27	35	29	402	387
おおい歯科	30	12	15	7	15	10	29	16	16	12	16	10	291	149
恩方病院	20	12	10	10	0	0	20	10	23	12	24	12	241	130
合計	515	390	401	354	423	357	413	394	414	367	507	387	5,440	4,439

【特別養護老人ホーム 長舟園】

⑪ 【医療機関での診療状況:通院】

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	2	2	4	4	2	2	6	6	3	2	4	4	21	20
外科			3	3			1	1					4	4
整形外科	3	3	5	3	7	6	3	3	3	2	6	4	27	21
耳鼻咽喉科													0	0
眼科			1	1	2	2					2	2	5	5
皮膚科	5	5	5	5	3	3	3	3	6	4	5	5	27	25
婦人科													0	0
泌尿器科	5	2	2	1	4	2	1	1			1	1	13	7
精神科													0	0
神経科	2	2	4	4	2	2	2	2	1	1	1	1	12	12
歯科													0	0
その他	2	2			2	2	1	1			6	3	11	8
合計	19	16	24	21	22	19	17	17	13	9	25	20	120	102
区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	3	3	2	2	6	6	4	4	2	2	8	8	46	45
外科	2	2	1	1	2	2							9	9
整形外科	4	4	2	2	3	3	5	4	6	4	3	3	50	41
耳鼻咽喉科	1	1	1	1			3	3	4	2	1	1	10	8
眼科			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	10
皮膚科	5	5	6	6	6	5	2	2	2	2	5	5	53	50
婦人科													0	0
泌尿器科	3	2	4	4	4	4	2	2	2	2	8	7	36	28
精神科													0	0
神経科	2	2	2	2	2	2	1	1					19	19
歯科													0	0
その他	1	1	3	3	1	1	2	2	5	3	2	2	25	20
合計	21	20	22	22	25	24	20	19	22	16	28	27	258	230

【特別養護老人ホーム 長舟園】

⑫【医療機関での診療状況:入院】

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	4	4	5	5	5	5	1	1	8	8	2	2	25	25
外科													0	0
整形外科	1	1	1	1			1	1					3	3
耳鼻咽喉科													0	0
眼科													0	0
皮膚科					1	1							1	1
婦人科													0	0
泌尿器科			1	1									1	1
神経科													0	0
恩方病院													0	0
おおい歯科													0	0
その他													0	0
合計	5	5	7	7	6	6	2	2	8	8	2	2	30	30
区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	4	4	3	3	6	6	5	5	1	1	7	7	51	51
外科	1	1											1	1
整形外科	2	2											5	5
耳鼻咽喉科													0	0
眼科													0	0
皮膚科					1	1							2	2
婦人科													0	0
泌尿器科													1	1
神経科	1	1											1	1
恩方病院													0	0
おおい歯科													0	0
その他													0	0
合計	8	8	3	3	7	7	5	5	1	1	7	7	61	61

【特別養護老人ホーム 長舟園】

2【職員状況】

①【職員数】

雇用形 職種	令和4.4.1の職員数				令和4年度入退職状況								令和5.3.31の職員数												
	正職員	有期契約職員			実人員計	正職員	有期契約職員						入退職者差引計	有期契約職員					実人員計 (①+②+③+④)	常勤換算 (①+⑤)					
		準職員	非常勤職員	派遣職員			準職員	非常勤職員		派遣職員		①正職員		②準職員	③非常勤職員	④派遣職員	⑤常勤換算								
								入職	退職	入職	退職							入職			退職				
施設長	1				1												0	1	0	0	0		1	1.0	
相談員	4				4													4	0	0	0		4	4.0	
介護支援専門員	(3)				(3)	(1)												(4)	0	0	0		(4)	(4.0)	
介護士	67	1	20		88	7	5			1								69	1	21	0		13.5	91	82.5
(うち、介護福祉士)	(59)	(0)	(13)		(72)	(1)	(4)			(1)								(56)	(0)	(14)	(0)		(8.7)	(70)	(64.7)
看護師	6		5		11													6	0	5	0		2.2	11	8.2
栄養士	1				1													1	0	0	0			1	1.0
調理員					0													0	0	0	0			0	0.0
事務員	4		2		6					1								4	0	3	0		1.2	7	5.2
操縦士・営繕	0		6		6						1							0	0	5	0		3.5	5	3.5
洗濯・清掃	0		10		10					1	2							0	0	9	0		4.1	9	4.1
嘱託医			2		2													0	0	2	0			2	0.0
機能訓練指導員	1		1		2													1	0	1	0		0.8	2	1.8
支援補助職	0		7		7													0	0	7	0		1.7	7	1.7
その他					0													0	0	0	0			0	0.0
計	84	1	53	0	138	7	5	0	0	3	3	0	0					86	1	53	0		27.1	140	113

※常勤換算は3月末時点の数字である。

※介護支援専門員入職1名は資格取得によるものである。

②【職員研修】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外・内研													
外部研修参加人数	0	0	0	0	14	10	1	2	0	1	0	0	28
Web研修参加人数	0	3	4	8	3	2	6	18	13	4	6	3	70
内部研修参加人数	11	121	363	14	103	219	133	218	368	0	128	0	1678
計	11	124	367	22	120	231	140	238	381	5	134	3	1,776

【特別養護老人ホーム 長舟園】

③ 【防災訓練】

月	訓練内容	人数	月	訓練内容	人数
4月	新型コロナウイルス感染症予防の為中止	0	10月	地震が発生しキッチンより火災が発生し初期消火と避難誘導	10
5月	キッチンより火災が発生ご利用者様避難誘導し初期消火・連絡通報	17	11月	地震が発生しキッチンより火災が発生し初期消火と避難誘導	11
6月	新型コロナウイルス感染症予防の為中止	0	12月	災害時に使用するポウタブル発電機とユニット内使用可能コンセントの確認	6
7月	関東地方で大規模な地震が発生(事務所)放送設備使用訓練	3	1月	夜間訓練・避難誘導と初期消火	8
8月	消防設備とポウタブル発電機の取り扱い説明	7名実習生6名	2月	夜間訓練・避難誘導と初期消火	7
9月	キッチンより火災が発生ご利用者様避難誘導し初期消火訓練	13	3月	消火器・消火栓・使用方法と通報訓練	10

【特別養護老人ホーム 長舟園】

別紙1

【事故報告書】

令和4年度 事業報告書

	発生年月日	ご利用者氏名 (イニシャル)	性別	年齢	発生種別	発生場所	原因	対応 (施設賠償保険等の請求をした場合は、その旨記載)
1	令和4年4月5日	K・H	女性	86	感染症等	居室(個室)	職員よりコロナ感染したと思われる	保健所へ報告し入院先の調整を依頼。4/5入院し、4/14退院される
2	令和4年4月26日	D・N	女性	93	転倒	居室(個室)	ベッドより独歩し、床に打撲されたため	4/27通院し左大腿骨頸部骨折にて入院。5/2手術し5/31退院される
3	令和4年5月6日	M・Y	女性	86	転倒	居室(個室)	居室内で車椅子より独歩し、後頭部をサッシに打撲されたため	5/6通院し、後頭部4針縫合され、経過観察となる
4	令和4年5月6日	S・K	女性	90	転倒	居室(個室)	自己にてベッドから車椅子乗降時に床に打撲されたため	5/7通院し、第1腰椎/第11・12胸椎圧迫骨折。保存療法にて経過観察
5	令和4年6月15日	Y・A	女性	86	感染症等	居室(個室)	職員よりコロナ感染したと思われる	保健所へ報告し入院先の調整を依頼。6/16入院し、7/25退院される
6	令和4年6月16日	M・Y	女性	78	転倒	居室(個室)	自己にてポータブルトイレ使用時にベッド柵に左脇を打撲されたと思われる	6/16発見後、湿布にて経過観察。6/23痛み増強し、通院し肋骨骨折。保存療法にて経過観察
7	令和4年7月13日	O・S	女性	95	転倒	食堂等共用部	車椅子より独歩し床に打撲されたため	7/14通院し右大腿部転子部骨折にて保存療法目的で入院。9/15退院される
8	令和4年7月19日	T・M	女性	85	感染症等	居室(個室)	職員よりコロナ感染したと思われる	保健所へ報告し入院先の調整を依頼。施設対応と指示あり、抗体療法し経過観察となる
9	令和4年7月24日	N・T	女性	93	その他(介護ミス)	居室(個室)	衣類脱衣時、骨折部に負担がかかるような介助を行ってしまったため	7/25通院、診断が確定せず、8/1再診指示あり通院し左上腕骨骨折診断。保存療法にて経過観察となる
10	令和4年8月5日	M・T	女性	90	感染症等	居室(個室)	職員よりコロナ感染したと思われる	保健所へ報告し入院先の調整を依頼。施設対応と指示あり、抗体療法し経過観察となる

I . 施設目標

令和4年度は清明園にとって大きな事業変革の第一歩となります。目標として①7月の移転に向けて万全な体制を整え、ご利用者、職員ともに事故なく引っ越しを完了することです。その為には職員一丸となり当日を迎えることです。②新型コロナウイルス感染症や自然災害に備えるべく、移転後のBCP(事業継続計画)を策定します。安心安全な事業が継続できるよう、昨年度のクラスター発生の経験を活かした体制を整備します。③移行期間中でも人材確保・定着、サービスの質の向上を目指し、教育体制を整えます。ユニット介護となり、これまで以上に個別性の高いサービスを提供することにより、ご利用者お一人お一人の満足度を高め、職員がやりがいのある職場を目指していきたいと思えます。④安定した運営を行うため稼働率の維持、予算執行状況を管理して事業の継続を目指します。

令和4年 ① 事故なく安全に移転を行う。

状況: 移転時に向けて法人内一丸となり準備を整え、ご利用者の転居、物品、備品等の搬入がスムーズに事故なく安全に行うことができました。また、多くのボランティアの協力のおかげで転居後すぐに、ご利用者が日常生活できる準備を整えていただきました。

② 事業の安定化を図る。

状況: 昨年度の利用率低迷から、上半期徐々に回復していましたが、12月に再度新型コロナウイルス感染症が発生したため、利用率が再度低下してしまい目標値に届かない状況でした。引っ越し後、消耗品等の購入が予算より大幅に増加してしまい全部署で備品の節約に努めました。また、エネルギー高騰、食材費等の物価高騰を受け、ご利用者に影響が出ない工夫で日々対応しました。

II . 目標達成へ向けた取り組み

① 移転に向けての計画策定。

改善等コメント: 移転に伴い、引っ越しのシミュレーションを行い、綿密な手順を作成し法人職員、ボランティアの協力のもと、事故なく移転が完了しました。また、移転後すぐに出来るだけご利用者に影響がないようユニット介護の業務手順を作成し、大きな混乱なく業務を行うことが出来ています。

② 移転後の感染症、自然災害に備える新たなBCPの策定。

改善等コメント: 12月に新型コロナウイルス感染症が発生し、ユニットの特性を活かした感染対策を行いました。また、東京都感染対策チームに依頼し指導、研修を行いました。BCP策定では、防火防災管理会議・感染症対策委員会を中心に話し合いを進めています。

③ 人材の確保・定着・サービスの質の向上のための教育の実施。

改善等コメント: 採用活動により人材は安定しています。退職者に伴う職員の減少はありましたが、次年度の入職者を確保できています。職員教育では、人材育成委員会を中心に職員教育を行っています。また、各委員会でも、職員主体の内部研修を実施しサービスの質の向上を図っています。

④ 稼働率の維持・運営資金の管理。

改善等コメント: 前年度の新型コロナウイルスのクラスター発生で、利用率が大幅に低下してしまい、令和4年度入所者は45名でしたが退所者も35名と年度末までのベット満床目標が達成できませんでした。入所業務を優先し、申込者への早急な働きかけにより早期満床を目指しています。また、価格高騰に伴い衛生物品、食材などの業者見直しを行っております。

Ⅲ . サービス計画

1 . 事務部門

① 経営(収支目標・稼働率目標)

収支目標	施設更新の年となる本年も安定した収入を目指し、予算執行管理を行う。	
	状況:	施設更新を迎え、計画通りではありますが物品の購入費が増加しました。旧施設で使用していた物品の廃棄処分費も増加しました。
	改善等コメント:	移転時は多床室からユニット個室になり、物の置き場や購入物品についての把握や周知が大変でした。半年経過し、物品の在庫の把握、発注等のルールが整備され、発注納品等がスムーズになりました。今後も無駄なく計画的な物品購入を目指します。
稼働率目標	98%	
	状況:	令和4年2月の新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生の影響を受け、上半期利用率は83.65%と目標を大きく下回りました。下半期は徐々に回復していましたが、12月再度コロナ感染症が発生し年間利用率は86.85%でした。
	改善等コメント:	早急な入所受け入れにより早期満床を目指します。また、感染症等の発生に備え、待機者を確保します。施設アピールを積極的に行い申込者増加も目指します。

② 人事(採用・教育(施設内外研修を含む)・実習受入)

採用	施設更新後も見据え、採用すべき人物像を明確にして活動していく。継続した新卒採用に向け、新施設での就職説明会の立案・実施を行う。	
	状況:	新卒職員は3名採用しました。説明会については新型コロナウイルス感染症対策の為、個別での対応としました。専門職の退職に伴う補充は紹介会社での採用を試みましたが、採用には至りませんでした。
外部研修	喀痰吸引の資格取得に取り組む。現在も続くコロナ禍の中、リモート研修を積極的に活用し職員の倫理観や介護技術の向上を目指す。	
	状況:	喀痰吸引資格取得研修や認知症介護基礎研修を進めました。また、リモート研修も積極的に行いました。

内部研修	移転新築の中でも年間計画に沿って滞りなく行う。職員が主体的で協力的な体制が築けるよう、内部研修を通して、より実践的な内容を学ぶ。	
	状況:	年間計画通り、各内部研修を行うことが出来ました。一般職員が中心となり、主体的で実践的な内容の研修にすることが出来ました。
実習受入	移転新築後、安定的に実習生受け入れを行う。新たな外国人技能実習生のスムーズな受け入れ。	
	状況:	新たに外国人技能実習生を2名受け入れ、徐々に業務に慣れ、介護技術の向上と知識の蓄積がみられます。また、2月から3月にかけて社会福祉士の実習生を2名受け入れました。

③ 修繕計画

修繕計画	清明園移転新築、東館取壊し、福祉車両の購入。	
	状況:	5月に福祉車両を購入しました。7月1日に清明園ご利用者の引越しを行い、ユニット型に移行しました。

④ 防災

防災目標	清明園移転新築に伴い消防計画、BCPマニュアルの作成を行う。今年度を災害備蓄見直しの準備期間とし、次年度整備に向け協議を進める。	
	感染症が発生した場合のBCPマニュアルの作成及び訓練の取り組み。	
	状況:	消防計画の作成を行い消防署に提出しました。防火防災管理会議にてBCPマニュアルの協議を進めました。3月に基本となるマニュアルを取りまとめました。災害備蓄品についても次年度整備計画を明確にし、新年度に予算計上をしました。

訓練計画	4月	火災(日中)を想定した総合訓練	10月	地震火災(日中)を想定した総合訓練
	5月	初期消火、消火栓放水訓練	10月	新型コロナウイルス感染症発生時対応訓練
	5月	新型コロナウイルス感染症発生時対応訓練	11月	地震火災(夜間)を想定した総合訓練
	6月	災害を想定した避難誘導訓練	12月	火災(日中)を想定した総合訓練
	7月	避難経路、消防設備確認訓練	1月	初期消火、消火栓放水訓練
	8月	図上訓練	2月	BCP(大規模災害)初動訓練
	9月	火災(夜間)を想定した総合訓練	3月	三者合同訓練

2. 介護部門

① 基本サービス提供目標

食事	ご利用者に美味しく安全に食事をして頂けるよう、職員一人一人がご利用者の好みや状態を把握する。(新館) 細目なご利用者への声掛けと嚥下状態の確認を行い、安全で楽しい食事時間を提供する。(東館)	
	状況:	移転後は、温かいものを温かく、冷たいものは冷たく、美味しく安全に楽しく食事が出来るようご利用者の意見や職員との情報共有をこまめに行い、お一人おひとりへの食事提供に努めました。また、食事摂取量の低下しているご利用者へは食事形態の工夫だけでなく、好みの物や高カロリーで食べやすいものを提供しました。
排泄	安全面・衛生面・プライバシーの保護を常に意識しながら介助を行い、介助時の事故、感染症の発生ゼロを目指していく。(新館) 排泄介助の基本技術の再確認と感染対策・プライバシーの保護に重点を置き業務を行う。(東館)	
	状況:	看護師と連携を図り、感染対策を確認しながら排泄ケアを行いました。また、ご利用者の身体状況やご要望を確認しながら出来るだけトイレで排泄して頂くことを心掛けました。
入浴	プライバシーへ配慮し、ご利用者お一人お一人がご自分のペースで入浴を楽しめるように介助を行う。(新館) 浴室環境を常に清潔に保つ。また、入浴時の声掛けを多くし、楽しく、安全に入浴して頂く。(東館)	
	状況:	プライバシーに配慮し、マンツーマンでの入浴介助を実施しました。また、浴室内の環境作りや入浴中のリラックスできる会話をし、ご利用者のペースでゆったりと楽しく入浴できるよう努めました。また、浴室の清潔が保てるよう防カビ対策や清掃をしっかりと行いました。

② 生きがいサービス提供目標

目標	コロナ禍における自粛が続く中、ご利用者の気持ちが明るくなる様な日々の活動、イベントを行っていく。(新館) 感染対策に考慮しながらクラブや行事がご利用者にとって生きがいや、やりがいになるよう行っていく。(東館)	
	状況:	感染対策に考慮し、ユニット内でのクッキングやアロマセラピー、レクリエーション等を毎月行いました。各季節行事ではユニットの飾り付けを行い、職員が中心となり催し物を行いました。また、清明ホールを活用し、毎月の誕生会、ユニット間でご利用者や職員が交流できるよう計画しました。

行事計画	4月	さくら祭り、お花見会、誕生会	10月	誕生会
	5月	春の合同慰霊祭 お節句しょうぶ湯、誕生会	11月	もみじ祭り、秋の文化展、誕生会
	6月	施設内ショッピング 誕生会	12月	クリスマス会、デザートバイキング 冬至ゆず湯、誕生会
	7月	創立記念祝賀会、七夕祭り 盆法要、誕生会	1月	新年祝賀会、新春ゲーム大会 七草粥、誕生会
	8月	誕生会	2月	節分年男年女豆まき、誕生会
	9月	長寿を祝う会 秋の彼岸法要、誕生会	3月	ひな祭り、梅見バスハイク 春の彼岸法要、誕生会

趣味活動計画	4月	毎月実施	10月	ユニット活動(たこ焼き、今川焼、特大プリン、お好み焼き、園芸栽培、ネイルサロン、創作フォトフレーム作り、塗り絵、書道等)
	5月	(新型コロナウイルス感染症にて各部署にてお楽しみクラブの実施)	11月	
	6月		12月	
	7月	ユニット活動(誕生日ケーキ、手作りケーキ、パバロア作り、塗り絵、切り張絵、書道等)	1月	
	8月		2月	
	9月		3月	

③ 安全への取組

取組内容	ユニット化に向けて職員一人一人が基本技術、マニュアルの再確認を行い、全職員が一名介助でも安全に行えるよう学んでいく。	
	状況:	ユニット化に伴い、マニュアルの作成や技術指導を通じて、新しい機器の使用方法や安全な介助方法を学び、大きな事故なく安全に実施できました。
	日々のご利用者の状態の把握と共有をしっかりと行い、その上で事故対策を迅速に実施していく。	
	状況:	ユニット化へ向け、ご利用者に事前共有を行い事故リスクの軽減に取り組みました。移転後も、事故に対するカンファレンスを都度行い事故予防に努めました。

3. 看護部門

① 健康管理

健康管理目標	ご利用者の心身の変化に対し、多職種との細やかな連携を図り、施設での穏やかな生活を目指し早期発見と早期対応に努める。	
	状況:	毎日の朝礼時に本日の各フロア担当看護師の報告を行い、ご利用者の毎日の検温と月一回の血圧測定・酸素濃度・BMIの管理を行い、各部署との連携を図り、体調の観察に努めました。
	新型コロナウイルス感染症対策において、迅速な対応が出来るようガウンテクニックの研修や、感染症発生時のシミュレーションを行い、情報収集と周知を徹底し発生時に備える。	
	状況:	毎日の朝礼時、夕礼時に各ユニットの発熱者・体調不良者の周知と標準予防策を確認し、感染症が拡大なく収束しました。
	終末期のご利用者に対しては、ご本人・ご家族の意向に寄り添い、多職種と共有し最善の方法でケアを行い、苦痛がなく安楽で穏やかな最期を迎えられるようサポートする。	
状況:	多床室から個室となり、個々のニーズに対応できるようになりました。コロナ禍で面会を中止している中でも、看取り期に入ったご利用者においては、感染対策をしっかりと行い、ご家族との面会を実施する事ができました。	

② 機能訓練

機能訓練目標	ユニット移転に向け選定を行った福祉機器をユニット移転後に問題なく活用できるように職員の周知・徹底を速やかに行う。	
	状況:	移転後、福祉機器は問題なく活用ができました。今後、新入職員に向けて安全に福祉機器が操作できるように研修の機会を増やし、事故の無いように取り組んでいきます。
	ユニットケアにおける機能訓練指導員の業務体制の構築を図り、安定したサービスの提供および多職種連携を図る。	
状況:	生活リハビリを中心としたご利用者への援助を多職種連携して行い、安定したサービス提供と安心な生活の継続に努めました。	

4. 栄養部門

① 基本食事サービス

基本食事サービス目標	移転後も安心安全な食事提供を前提に、各ユニット毎にランチョンマットや食堂用トレーの使用等の創意工夫を行い、移転前より家庭的な生活空間を食堂内に演出する。	
	状況:	移転により大きく変動のあった一年でした。移転後、再加熱カート ^① の導入により適温での食事提供が可能となりました。また、各ユニット毎に個性溢れる食堂演出が行われ、ご利用者の笑顔も多く見られ、満足度も向上しました。
	毎食のミールラウンドによる情報をケース記録やLIFE(科学的介護情報システム)等でPDCA化した多職種連携により、ご利用者個々の生活リズムに沿った食事サービスを行う。	
	状況:	コロナ禍でミールラウンドが行えない期間であっても、多職種のケース記録等により、ご利用者の細かい情報収集を行い、食事サービスにつなげることができました。

② 特別(行事等)食事サービス

基本食事サービス目標	行事食や誕生会食に加えてご利用者に、より食事を楽しんでいただくため、ユニットキッチンを活用した小規模な食事イベントを立案及び実施をする。	
	状況:	三大大行事では季節を感じられるお弁当を提供し、クリスマスにはブッシュドノエル等のデザートバイキングを行いました。各ユニットではユニットキッチンを活用し、様々なおやつを提供しました。

【特別養護老人ホーム 清明園】

1【利用者状況】

①【稼働率:3ヶ年推移】

定員:120名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
令和4	令和2年度	99.06	99.01	99.22	98.95	98.68	99.72	99.11	99.06	99.78	98.60	99.38	98.90	99.12
	令和3年度	99.11	98.01	98.86	98.82	93.74	95.25	95.30	99.47	99.19	97.63	92.83	79.33	95.63
	令和4年度	80.78	81.59	82.67	82.90	84.54	89.44	91.61	92.94	90.51	88.44	87.86	88.87	86.85
	月平均	92.98	92.87	93.58	93.56	92.32	94.80	95.34	97.16	96.49	94.89	93.36	89.03	93.87

※上記稼働率は、空床短期入所を含む。

②【介護度別利用者状況】

性別 介護度	令和4.4.1現在人員			入所者		退所者		令和5.3.31現在人員		
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	計
非該当										0
要支援1										0
要支援2										0
要介護1	1	2	3	11	34	8	27	1	1	2
要介護2	1	5	6					1	3	4
要介護3	4	18	22					5	30	35
要介護4	10	37	47					10	38	48
要介護5	3	21	24					5	18	23
計	19	83	102	11	34	8	27	22	90	112
平均介護度	3.68	3.84	3.81					3.77	3.77	3.77

③【ご利用者の年齢状況】

令和5.3.31現在

性別	年齢	~59才	60~64才	65~69才	70~74才	75~79才	80~84才	85~89才	90~94才	95~99才	100~104才	105~	計	平均年齢
	男				1	5	8	7		1				22
女			2	5	11	13	21	28	10				90	87才
計		0	0	2	6	16	21	28	28	11	0	0	112	86才
%		0.0	0.0	1.8	5.4	14.3	18.8	25.0	25.0	9.8	0.0	0.0	100.0	—

最高年齢 男性 95才
女性 98才

④【ご利用者の入所市区別状況】

令和5.3.31現在

性別	保険者	文京区	渋谷区	品川区	中野区	江東区	世田谷区	杉並区	練馬区	墨田区	八王子市	三鷹市	調布市	府中市	多摩市	昭島市	町田市	瑞穂町	八千代市	上尾市	昭和町	諏訪広域連合	亀岡市					計
	男										1	18			1		1							1				
女		1	1	1	1	1	2	1	3	1	68	1	1		1		2	1	1	1	1	1	1				90	
計		1	1	1	1	1	2	1	3	2	86	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1				112	

【特別養護老人ホーム 清明園】

⑤【退所状況】

月 退所理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
死亡(看取り)	1	1	3	1	1	0	4	0	2	1	3	0	17
死亡(入院)	2	1	2	0	1	0	1	0	3	1	2	1	14
長期入院	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
他施設	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
在宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	2	5	1	2	1	5	0	5	2	6	2	35

⑥【外泊状況】

月 外泊先	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子供宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
兄弟宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
孫宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
親類宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友人宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦【事故報告書(ヒヤリハット含む)】

月 発生種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転落・転倒	19	18	20	27	12	23	21	18	24	30	23	18	253
徘徊	28	12	8	2	0	0	0	0	2	0	3	3	58
皮下出血・皮膚剥離	21	13	18	14	12	11	14	15	11	13	12	16	170
裂傷・骨折	2(2)	0	0	1(1)	0	0	0	0	2(2)	0	3(3)	0	8(8)
自傷・他害行為	5	1	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	11
配薬ミス	1	0	0	1	0	1	0	1(1)	1	1	1	1	8(1)
誤薬	2(1)	0	0	3(1)	0	0	7(7)	1(1)	0	0	0	0	13(10)
異食	1	1	4	2	1	2	5	3	0	1	1	1	22
誤嚥	1(1)	0	0	2	1	0	0	0	0	1(1)	0	0	5(2)
紛失	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
器物破損	1	1	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	7
その他	12	5	8	8	9	13	11	12	13	12	10	8	121
計	93(4)	53	59	61(2)	36	53	59(7)	52(2)	53(2)	58(1)	54(3)	47	678(21)

※事故報告として市区町村へ届出たものについては()表示、詳細については別紙1に記載

【特別養護老人ホーム 清明園】

⑧【面会状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
令和2年度	15	1	39	24	0(10)	1(16)	0(12)	0(13)	0(12)	7(8)	2(9)	18(10)	197
令和3年度	4(8)	0(12)	1(8)	2(6)	12(11)	5(7)	3(13)	4(9)	60(1)	10(6)	3(1)	3(0)	189
令和4年度	0	0	5(8)	0(6)	0(17)	0(12)	74(2)	79(1)	51(2)	68(3)	80(2)	70(3)	483
月平均	9	4	20	12	16	13	34	35	42	34	32	34	289

※ 延べ来園者数

※ リモート面会については()表示

⑨【機能訓練回復状況】

月 訓練内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実人数	延人数
生活リハビリ	0	3	0	2	5	1	3	1	0	2	0	1	10	18
機能訓練	5	68	20	47	118	107	70	49	45	66	20	57	247	672
その他	10	8	4	20	21	14	12	10	7	9	13	7	69	135
介助方法指導	3	4	0	1	2	1	2	0	0	3	2	0	8	18
状態の評価	62	44	14	45	53	62	70	82	22	80	48	83	216	665
														0
														0
														0
														0
計	80	127	38	115	199	185	157	142	74	160	83	148	550	1,508

【特別養護老人ホーム 清明園】

⑩【嘱託医による診療実績】

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	229	105	208	106	209	104	219	98	244	100	260	109	1,369	622
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	14	5	14	5	9	2	9	5	11	2	21	7	78	26
耳鼻咽喉科	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2
眼科	9	5	5	3	4	4	9	6	6	1	4	3	37	22
皮膚科	51	32	42	24	31	27	30	30	23	22	26	26	203	161
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	6	4	14	11	8	6	3	2	6	2	4	4	41	29
精神科	77	48	53	43	65	44	59	36	52	36	74	43	380	250
神経科	30	15	23	14	25	12	18	9	37	15	35	17	168	82
歯科	211	59	242	73	264	76	118	66	166	74	286	73	1,287	421
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	627	273	602	280	616	276	465	252	545	252	710	282	3,565	1,615
区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	307	123	262	139	307	128	244	141	264	108	328	111	3,081	1,372
外科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
整形外科	22	8	18	11	20	9	13	9	20	11	32	17	203	91
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	1	1	3	1	1	1	7	5
眼科	9	5	6	3	7	1	5	5	0	0	7	4	71	40
皮膚科	52	31	59	33	51	26	44	40	3	2	47	17	459	310
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	6	2	7	4	13	5	11	4	9	6	14	8	101	58
精神科	88	39	60	41	80	42	51	27	79	45	76	36	814	480
神経科	13	4	31	21	52	19	28	9	29	12	30	8	351	155
歯科	276	77	230	79	183	66	229	80	190	81	286	82	2,681	886
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	773	289	673	331	713	296	627	317	597	266	821	284	7,769	3,398

【特別養護老人ホーム 清明園】

⑪【医療機関での診療状況:通院】

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	4	4	13	13
外科	1	1	3	1	1	1	1	1	0	0	0	0	6	4
整形外科	4	3	2	2	2	2	1	1	0	0	4	2	13	10
耳鼻咽喉科	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
眼科	2	2	5	5	0	0	2	2	0	0	2	1	11	10
皮膚科	2	1	5	3	0	0	0	0	0	0	1	1	8	5
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	3
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神経科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	11	18	14	5	5	5	5	2	2	12	9	56	46
区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	2	2	3	3	8	8	6	6	6	6	4	4	42	42
外科	2	1	1	1	3	2	0	0	0	0	0	0	12	8
整形外科	1	1	0	0	1	1	2	2	2	2	4	4	23	20
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	4	3
眼科	6	4	5	3	2	2	4	4	2	1	4	4	34	28
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	5
婦人科	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	2	2
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3
精神科	3	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	5	3
神経科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	9	10	8	15	14	13	13	12	11	14	13	134	114

【特別養護老人ホーム 清明園】

⑫【医療機関での診療状況:入院】

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	165	12	137	7	33	3	48	3	53	4	58	4	494	33
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	26	2	0	0	0	0	0	0	31	1	1	1	58	4
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	1
神経科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	212	15	137	7	33	3	48	3	84	5	59	5	573	38
区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	42	3	14	2	88	7	56	4	82	6	71	4	847	59
外科	0	0	4	1	20	1	18	1	0	0	0	0	42	3
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	42	3	20	2	120	9
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	1
神経科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	42	3	18	3	108	8	74	5	124	9	91	6	1,030	72

【特別養護老人ホーム 清明園】

2【職員状況】

①【職員数】

雇用形 職種	令和4.4.1の職員数				令和4年度入退職状況								令和5.3.31の職員数							
	正職員	有期契約職員			正職員	有期契約職員						入退職者差引計	有期契約職員					実人員計 (①+②+③+④)	常勤換算 (①+⑤)	
		準職員	非常勤職員	派遣職員		準職員	非常勤職員		派遣職員		①正職員		②準職員	③非常勤職員	④派遣職員	⑤常勤換算				
							入職	退職	入職	退職							入職			退職
施設長	1																1	1.0		
相談員	3																3	3.0		
介護支援専門員	(3)																(3)	(3.0)		
介護士	42	3	13		10	9		1	3	4							58	53.4		
(うち、介護福祉士)	(28)	(3)	(8)		(1)	(5)		(1)	(2)	(3)							(39)	(30.4)		
看護師	3	1	3		2	2	1		1	1							7	7.2		
栄養士	3																3	3.0		
調理員	3		7		1				1	1							10	7.5		
事務員	2								2								2	3.2		
操縦士・営繕	1		4						1	1							5	4.1		
清掃・洗濯			1						6								1	2.6		
嘱託医			2														2	0.2		
機能訓練指導員	1		1						1	1							2	1.2		
その他			3		2	2			4	1							3	2.1		
																	0	0.0		
計	59	4	34	0	15	13	1	1	19	9	0	0	12	61	4	44	0	27.5	109	88.5

※常勤換算は3月末時点の数字である。

介護職(正)5名、看護師(非)1名につきましては4月1日入職者。

介護職(正)1名、看護師(正)1名につきましては休職中。

看護師(正)1名入職、看護師(非)1名退職につきましては雇用形態の変更。

介護職(正)1名退職、介護職(非)1名入職につきましては雇用形態の変更。

介護職(非)3名退職、清掃(非)退職1名、その他(非)1名退職、操縦士・営繕(非)1名退職、その他(非)4名入職、清掃・洗濯(非)4名入職につきましては職種変更。

機能訓練指導員(非)1名につきましては看護師(非)1名と兼務。

その他(正)2名入退職、介護職(正)入職2名につきましては技能実習生(2期生)である。

②【職員研修】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外・内研修													
外部研修参加人数	0	5	0	0	0	4	0	0	0	0	4	0	13
Web研修参加人数	0	0	2	2	7	5	5	2	3	49	14	2	91
内部研修参加人数	0	54	0	0	27	119	22	80	0	72	90	107	571
計	0	59	2	2	34	128	27	82	3	121	108	109	675

【特別養護老人ホーム 清明園】

③ 【防災訓練】

月	訓練内容	参加人数	月	訓練内容	参加人数
4月	火災(日中)を想定した総合訓練	7	10月	地震火災(日中)を想定した総合訓練	10
5月	初期消火、消火栓放水訓練	7	11月	地震火災(日中)を想定した総合訓練	6
6月	災害を想定した避難誘導訓練	10	12月	火災・地震発生時の初動対応アンケート	96
7月	避難経路、消防設備確認訓練	12	1月	初期消火、消火栓放水訓練	14
8月	図上訓練	99	2月	BCP(大規模災害)初動訓練	8
9月	火災(夜間)を想定した総合訓練	12	3月	火災(日中)を想定した総合訓練	9

【特別養護老人ホーム 清明園】

別紙1

【事故報告書】

令和4年度 事業報告書

	発生年月日	ご利用者氏名 (イニシャル)	性別	年齢	発生種別	発生場所	原因	対応 (施設賠償保険等の請求をした場合は、その旨記載)
1	令和4年4月1日	S・K	女性	75	不明(骨折)	その他(不明。浴室にて発見)	身体介護時右大腿部周辺に赤み、腫脹が見られる。主は意志の伝達能力、発語も困難でありまた、苦痛表情もなく原因の究明に至らないも介護上での可能性が高い	外部通院。右大腿骨転子部骨折。保存療法
2	令和4年4月11日	M・T	男性	65	誤薬、与薬漏れ等	その他(医務室)	退院時薬から定期薬への切り替えを看護師が忘れてしまった事が原因(与薬漏れ)	ご家族への説明とご本人の状態観察の記録を行う
3	令和4年4月12日	O・S	女性	91	転倒(骨折)	食堂等共用部	職員が見ていないところで車椅子より立ち上がり転倒	外部通院。左大腿骨頸部骨折にてそのまま入院。4月18日手術。4月30日退院
4	令和4年4月25日	I・T	女性	74	誤飲・窒息	食堂等共用部	自己摂取にて早食いの傾向あり、食事を小分け食対応にしていたが、食事を詰まらせてしまった	救急搬送。誤嚥性による低酸素脳症にて集中治療室へ入院。5月4日永眠される
5	令和4年7月2日	H・K	女性	93	誤薬、与薬漏れ等	食堂等共用部	ご本人と同じ苗字の方の薬を新人職員が薬袋の名前を見間違えて服薬介助をしてしまった	管理医師に連絡し報告。医師の指示にて様子観察。体調不良なく経過。早急に再発防止策を検討した
6	令和4年7月30日	H・T	女性	92	転倒(骨折)	居室(個室)	夜間帯、P-トイレを設置し使用しているが、床に放尿をしてしまい、滑ってしまった	外部通院。右大腿上部骨折にてそのまま入院。8月2日手術。9月2日退院
7	令和4年10月31日	A・T	男性	75	誤薬、与薬漏れ等	食堂等共用部	朝食後薬と夕食後薬の薬箱を間違えて配薬を行ってしまった	看護へオンコール。看護師より管理医師へ連絡し、指示を仰いだ。翌日の朝食後薬は中止し、血圧測定と様子観察の指示ある。体調お変わりなし
8	令和4年10月31日	A・S	女性	69	誤薬、与薬漏れ等	食堂等共用部	朝食後薬と夕食後薬の薬箱を間違えて配薬を行ってしまった	看護へオンコール。看護師より管理医師へ連絡し、指示を仰いだ。翌日の朝食後薬は中止し、血圧測定と様子観察の指示ある。体調お変わりなし
9	令和4年10月31日	O・S	女性	91	誤薬、与薬漏れ等	食堂等共用部	朝食後薬と夕食後薬の薬箱を間違えて配薬を行ってしまった	看護へオンコール。看護師より管理医師へ連絡し、指示を仰いだ。翌日の朝食後薬は中止し、血圧測定と様子観察の指示ある。体調お変わりなし
10	令和4年10月31日	S・T	女性	80	誤薬、与薬漏れ等	食堂等共用部	朝食後薬と夕食後薬の薬箱を間違えて配薬を行ってしまった	看護へオンコール。看護師より管理医師へ連絡し、指示を仰いだ。翌日の朝食後薬は中止し、血圧測定と様子観察の指示ある。体調お変わりなし

	発生年月日	ご利用者氏名 (イニシャル)	性別	年齢	発生種別	発生場所	原因	対応 (施設賠償保険等の請求をした場合は、その旨記載)
11	令和4年10月31日	H・M	女性	86	誤薬、与薬漏れ等	食堂等共用部	朝食後薬と夕食後薬の薬箱を間違えて配薬を行ってしまった	看護へオンコール。看護師より管理医師へ連絡し、指示を仰いだ。翌日の朝食後薬は中止し、血圧測定と様子観察の指示ある。体調お変わりなし
12	令和4年10月31日	M・T	女性	73	誤薬、与薬漏れ等	食堂等共用部	朝食後薬と夕食後薬の薬箱を間違えて配薬を行ってしまった	看護へオンコール。看護師より管理医師へ連絡し、指示を仰いだ。翌日の朝食後薬は中止し、血圧測定と様子観察の指示ある。体調お変わりなし
13	令和4年10月31日	Y・K	女性	84	誤薬、与薬漏れ等	食堂等共用部	朝食後薬と夕食後薬の薬箱を間違えて配薬を行ってしまった	看護へオンコール。看護師より管理医師へ連絡し、指示を仰いだ。翌日の朝食後薬は中止し、血圧測定と様子観察の指示ある。体調お変わりなし
14	令和4年11月4日	K・A	女性	83	誤薬、与薬漏れ等	その他(医務室)	精神科薬をセットし忘れた	10月28～11月3日の七日間服薬をしていなかった事を管理医師へ報告。状態観察、服薬再開の指示
15	令和4年11月30日	W・M	女性	95	誤薬、与薬漏れ等	食堂等共用部	他ご利用者様の薬を間違えて服薬介助を行ってしまった	管理医師に誤薬の件報告。様子観察の指示
16	令和4年12月2日	O・H	女性	72	その他(足をぶつける)	居室(個室)	自己にてベッドから車椅子に乗り移ろうとして、左足第一趾を床にぶつけてしまった	外部通院。左足第1趾にひび。痛み止め薬と湿布にて保存療法
17	令和4年12月11日	Y・T	女性	94	転倒	居室(個室)	ベッド脇に右側臥位に転倒	外部通院。右側頭部裂傷。ホチキス3針縫合
18	令和5年1月5日	K・T	男性	83	誤飲・窒息	居室(個室)	夕食全介助にて全量後、嘔吐、急変	救急対応にて病院へ搬送。死亡確認される
19	令和5年2月9日	S・M	女性	86	転倒	居室(個室)	ベッド横で右側臥位に転倒しているところを発見。トイレに行くためベッドから降りたと話される	外部通院。右大腿骨頸部骨折にて入院。手術後、2月24日退院
20	令和5年2月11日	T・E	女性	90	転倒	居室(個室)	仰臥位で転倒しているところを発見	救急対応にて病院へ搬送。左大腿骨頸部骨折にて入院。2月20日手術。3/6退院
21	令和5年2月17日	T・K	女性	97	転倒	居室(個室)	ベッドサイドで仰向けで転倒しているところを発見	救急対応にて病院へ搬送。左大腿骨頸部骨折にて入院。3月2日手術。3/16退院

I . 施設目標

令和4年度

令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策に留意しながらのスタートとなります。日常の業務の中に感染症対策が組み込まれ、職員一人一人が意識を高くもって望み、今年も業務に支障の出ないことを願いつつ継続した対策をとっていきます。こうした状況ではありますが、少しずつ浸透しつつあるICT化の導入を今年もさらに進めていきます。キャリア段位制度の導入も定着を目指し、職員の仕事に対する意欲に繋がるように努めていきます。新型コロナウイルス感染症対策は、職員の心身を疲弊させている状況もありますが職員の健康管理に留意し、研修や相談体制を整理し少しでも働く環境を良くしていきたいと思えます。今年が明るい話題の多い年となるように職員一丸となって取り組みをすすめていきます。

- ① ICT化の促進:ほのぼのソフトの更なる活用、福祉機器の導入の検討に取り組む

状況: 上半期は、ほのぼのソフトの活用を進めることができた。福祉機器の活用は下半期の課題であったが、11月中旬から新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、取り組みが中断してしまった。その中でも、日々の情報共有の大事さを認識させられたので、今後の取り組みに活かしていきたい。

- ② アセッサー体制の定着:キャリア段位制度に添った評価を定着させる。

状況: 上半期は、入職時の評価にキャリア段位制度の評価を導入することができた。しかし、下半期はクラスター発生により取り組むことができなかった。今後も取り組みを進めていきたい。

- ③ 職員が働きやすい職場の環境を整える。

状況: 安全衛生担当を配属しスタートした。職員の面談や職場の環境を整える役割について周知を進めたが、下半期のクラスター発生により中断することになった。今後の取り組みで成果につなげていきたい。

II . 目標達成へ向けた取り組み

- ① 毎月、ICT推進委員会を開き、進捗状況の確認と取り組む課題を検討する。職員全員が、取り組みの重要性を理解し職場の協力体制を築いていく。

改善等コメント: 下半期のクラスター発生により、取り組みが中途半端になってしまった。それでも、クラスター収束後の3月に移乗用リフトを購入し研修を進めた。今後も継続して取り組んでいく。

- ② アセッサーの資格取得に向けて職場として推進していく。キャリア段位制度に添った評価を年間を通して実施する。キャリア段位制度に対する理解を深める研修を計画し実施する。

改善等コメント: 一年を通して十分な取り組みができなかった。今後の課題としたい。評価の定着は、浸透しつつあるので継続していく。

- ③ 職員の健康面談を定期に実施する。ハラスメント防止研修や腰痛予防のための職場環境について検討していく。

改善等コメント: 職員の定期面談や職場環境の改善については少しずつ実施できている。安全衛生担当者の役割についても認識されつつある。これから活動していく中で、更に周知をはかり働きやすい職場の環境を整えていきたい。

Ⅲ . サービス計画

1 . 事務部門

① 経営(収支目標・稼働率目標)

収支目標	感染症対策に留意し稼働率の維持に努める。施設内設備の故障が増加する中で優先すべて修繕を計画的に順位をつけて行っていく	
	状況:	非常放送用音響装置の工事や浄化槽の清掃メンテナンスを行い、「もしも」に備えた対応ができた。
	改善等コメント:	温暖化や価格高騰などの問題を如何に先取りして対応するか、省エネや節約に向けて今後の課題である。
稼働率目標	96%	
	状況:	下半期の新型コロナウイルス感染症クラスター発生の影響もあり年間の稼働率平均が94.87%であり、目標の稼働率96%を達成することができなかった。
	改善等コメント:	入所相談体制の確立と入所受け入れを迅速に行う。多職種連携にてアセスメントを実施し、安全な受け入れを目指す。

② 人事(採用・教育(施設内外研修を含む)・実習受入)

採用	採用計画に基づき関係機関と連携し人材確保に効果的な広報活動をすすめる	
	状況:	ハローワークから調理補助や事務、清掃等の採用はできたが、介護職員の採用には至らなかったため面接会の企画を行う。新日本学院から外国人アルバイト採用は継続している。
外部研修	WEB研修を受講する環境を整える	
	状況:	クラスター発症により受講予定が立たず、4件キャンセルとなってしまった。特に介護職員向けの研修が受講ができず、eラーニングの時間確保ができなかった。
内部研修	動画を活用した研修を実施する。新人オリエンテーション環境を整える	
	状況:	各委員会職員が研修動画を作成し動画内部研修を実施した。短い研修動画の為、多くの職員が研修に参加することができている。しかしクラスターが発生した後は、中止せざるを得なかった。
実習受入	オンライン実習を含めた実習生の受け入れを整える	
	状況:	社会福祉士実習生の受け入れを行った。

③ 修繕計画

修繕計画	館内放送設備老朽化に伴う、音響設備機器の刷新 浄化槽(原水ポンプ、放流ポンプフロア、タッチパネル)等の交換修理	
	状況:	非常放送用の音響設備の交換工事は完了し、非常館内放送は問題なくなった。浄化槽のポンプ交換等は適宜行われた。
	感染症に対処するための、エアコン等空調設備のメンテナンス清掃	
	状況:	共有部のエアコンを分解清掃し、送風口に防カビチタンコーティングを行った。

④ 防災

防災目標	BCP作成。地震・火災を想定した訓練を実施する	
	状況:	五日市ホーム防災BCPが完成した。令和5年度BCPに沿った訓練計画立案を行った。
	他施設、自治会と連携し合同訓練を実施する	
	状況:	自治会、3福祉施設合同にて災害時避難所開設訓練を実施した。

訓練報告	4月	図上訓練	10月	地域合同防災訓練
	5月	日中火災を想定した訓練	11月	災害対策訓練(帰宅困難)
	6月	災害対策訓練(地震)	12月	災害対策訓練(仮説トイレ設置)
	7月	夜間帯の火災訓練	1月	不審者対応訓練
	8月	災害対策訓練(台風)	2月	夜間帯の火災通報訓練
	9月	日中火災を想定した訓練	3月	3福祉施設合同避難訓練

2. 介護部門

① 基本サービス提供目標

食事	重度化に向けて安全に食事提供できる環境整備を整える	
	状況:	食事中におけるリスクが高いご利用者にミールラウンドを各階隔月に実施し、適切な食事提供について検討・実行することができた。ご利用者の状態に合わせて随時、食席変更・検討を行い環境整備に努めた。新型コロナウイルス感染症クラスター発生後は、対応を中止せざるを得なかった。感染症発症時の食事提供については、今後に繋がるよう対応をまとめていく。
排泄	清潔保持を第一にケアを行う	
	状況:	クラスター発生により、皮剥けや褥瘡の皮膚疾患を防止する事が不十分で、それらの状況と情報の共有が薄くなってしまった為、再発も多く発生してしまった。清潔保持の面を第一にケアを行った。
入浴	羞恥心に配慮し、個浴にて安全にゆっくり入浴して頂く	
	状況:	クラスターが発生し、収束までは入浴中止を余儀なくされた。収束後は新規のご利用者が多く入所した。介護、医務、リハビリの職員で状況を確認し、安全な入浴方法を検討し事故無く行うことができた。

② 生きがいサービス提供目標

目標	感染症に留意し、季節を楽しむことができる行事を行う	
	状況:	クラスター発生時を除き概ね行事は出来たが、合同ではなく各フロアに分かれて行った。手指消毒をはじめ感染対策を実施し多くのご利用者にも参加して頂けた。

行事報告	4月	お花見	10月	芋煮会・屋内衣類販売
	5月	ミニ運動会	11月	暖炉火入れ式・紅葉狩り
	6月	屋外ショッピング代行	12月	クリスマス会の会
	7月	七夕の会	1月	新年会
	8月	涼み会	2月	豆まき
	9月	長寿を祝う会	3月	ひな祭り

趣味活動報告	4月	クラブに沿ったレクリエーション 毎月実施 (生花の会・習字の会・コーラスの会・コラージュの会・すずらん喫茶・散策の会・レクリエーションの会)	10月	毎月実施 ・生花の会・習字の会 ・コーラスの会・コラージュの会 ・すずらん喫茶・散策の会 ・レクリエーションの会
	5月		11月	
	6月		12月	
	7月		1月	
	8月		2月	
	9月		3月	

③ 安全への取組

取組内容	ご利用者様の重度化に対応できる移乗介助・褥瘡予防の技術向上に努める。	
	状況:	介護候補生(学生アルバイト)をはじめ移乗介助での事故は前年度より減少した。褥瘡予防に関しては、クラスター収束以降14名褥瘡が発症した。3月末で減少しているが0とはなっていない。
	車椅子からの滑落事故などを予防するため、車椅子上での姿勢保持、ポジショニングに努める。	
	状況:	全てのご利用者を対象に姿勢保持に努め、食事時をはじめ姿勢崩れは減少した。車椅子からの滑落も減少した。姿勢崩れによる嚥下不良等誤嚥の事故もなくなった。クラスターが発生後はADLが低下したご利用者が多くみられたが、集中してリハビリを行ったため、少しずつ以前の状態に戻りつつある。

3. 看護部門

① 健康管理

健康管理目標	感染症対策を最優先に取り組む	
	状況:	毎朝出勤時の検温・マスクの着用・体調確認、手洗い・消毒の徹底・防護服着脱の確認を行い、職員全員が週1回のPCR検査を実施し、ご利用者の手指衛生にも努め、温度・湿度管理をすることにより感染防止に努めた。しかし、新型コロナウイルス感染症クラスター発生時の初動対応に課題が残り、今後に繋がるよう対応を検討していく。
	ICT化に努め業務改善を進め、安定したサービスを提供する	
	状況:	内科・精神科往診の診察内容をPCに入力することにより、職員間で情報共有ができ業務改善につながった。新規入所者や看取りケアのご利用者の情報や対応、振り返りなどをPCに入力し情報共有に努め、統一したケアを提供できた。

② 機能訓練

機能訓練目標	車椅子上の姿勢やポジショニングの再確認を行うことで拘縮、褥瘡予防の強化を図る	
	状況:	ご利用者の身体状況を把握し、車椅子上での姿勢保持の改善を図った。また、車椅子のクッション使用状況を随時確認し、褥瘡発症の軽減を図った。しかしクラスター発生後は、褥瘡のご利用者が多くなってしまった。今後は感染症対策にも留意して取り組みたい。
	計画的に機能訓練をご利用者にまんべんなく実施する	
	状況:	リハビリ職の役割分担やリハビリ会議を実施し、各ご利用者の情報共有ができ、満遍なく安全に機能訓練を実施できた。クラスター発生後は、対応が不十分でご利用者のADL低下につながってしまった。今後は感染症が発生した後の初期対応について、スムーズに取り組みができるようにしたい。

4. 栄養部門

① 基本食事サービス

基本食事サービス目標	食材購入については生産者管理を的確に行う	
	状況:	食材の産地については納品書に記載して頂いている。食材業者の衛生管理については毎月、業者職員の検便結果のコピーを提出してもらい保管し管理している。新型コロナウイルス感染症クラスター発生中は、短時間で対応するようにした。
	調理終了次第、盛り付け後温冷配膳車に入れる。温度は温65℃、冷10℃以下を徹底する。	
	状況:	温度管理は的確に行えている。配膳時の時間と温度については、チェック表に記載し管理している。クラスター発生中は、フロアへの立ち入りを中止とし、現場の状況に応じて時間や調理内容を臨機応変に対応した。
	HACCPの考え方を取り入れた衛生管理マニュアルを基に食品の加熱温度、時間などを確実に測定し食品や料理の安定、安心安全確保を図る。	
	状況:	HACCP(衛生管理の国際的な手法)の考えを取り入れた、衛生管理マニュアルを基に、衛生管理の実施をし、状況を記録している。食品の加熱温度・時間については、実施献立表に記載し保管している。

② 特別(行事等)食事サービス

基本食事サービス目標	季節の行事食として旬の食材を取り入れ、ご利用者様の嗜好に沿った食事を毎月提供する。	
	状況:	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、ご利用者に楽しんで頂けるように趣向を凝らした食事を提供した。毎月、季節に応じた行事食を提供し、とても喜んで頂けた。クラスター発生中は発症していないフロアーに配慮し、中止ではなく内容を短縮して行い行事食を提供した。
	年4回のお楽しみ膳、毎月1回の誕生祝い膳、週1回のセレクションメニューを提供する。	
	状況:	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、年4回のお楽しみ膳、毎月1回の誕生祝い膳、季節の行事食、毎週1回のセレクションメニューは予定通り実施できた。クラスター発生中は、発症していないフロアーにできる範囲で内容を簡素化し食事を提供した。ご利用者の方々にとって、制限のある中で楽しみを提供できた。

【特別養護老人ホーム 五日市ホーム】

1【利用者状況】

①【稼働率:3ヶ年推移】

定員:100名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
令和4	令和2年度	97.63	97.67	97.13	97.06	96.64	96.93	97.48	96.66	96.64	94.90	97.60	95.96	96.86
	令和3年度	94.90	97.38	99.20	99.00	98.96	98.70	96.19	95.80	97.54	97.48	96.00	96.48	97.30
	令和4年度	96.00	95.03	96.26	93.64	93.25	95.30	97.38	97.53	93.32	90.58	92.46	97.70	94.87
	月平均	96.18	96.69	97.53	96.57	96.28	96.98	97.02	96.66	95.83	94.32	95.35	96.71	96.34

※上記稼働率は、空床短期入所を含む。

②【介護度別利用者状況】

性別 介護度	令和4.4.1現在人員			入所者		退所者		令和5.3.31現在人員		
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	計
非該当										0
要支援1										0
要支援2										0
要介護1	1	1	2	20	26	17	23	1	1	2
要介護2	0	0	0						1	1
要介護3	14	24	38					13	27	40
要介護4	6	25	31					11	25	36
要介護5	6	17	23					5	16	21
計	27	67	94	20	26	17	23	30	70	100
平均介護度	3.59	3.85	3.78					3.63	3.77	3.73

③【ご利用者の年齢状況】

令和5.3.31現在

性別	年齢											計	平均年齢
	~59才	60~64才	65~69才	70~74才	75~79才	80~84才	85~89才	90~94才	95~99才	100~104才	105~		
男			1	5	2	10	6	6				30	83才
女	1		1	3	3	14	24	18	6			70	86才
計	1	0	2	8	5	24	30	24	6	0	0	100	85才
%	1.0	0.0	2.0	8.0	5.0	24.0	30.0	24.0	6.0	0.0	0.0	100.0	—

最高年齢 男性 98 才
女性 94 才

④【ご利用者の入所市区別状況】

令和5.3.31現在

性別	入所市区別																				計									
	杉並区	品川区	目黒区	世田谷区	中野区	練馬区	墨田区	新宿区	北区	羽村市	八王子市	三鷹市	国分寺市	東大和市	あきる野市	昭島市	武蔵野市	調布市	小平市	立川市		日野市	日の出町	小金井市	西東京市	福生市	静岡市	府中市	武蔵村山市	大月市
男	1	1	0	4	0	2	0	1	0	2	2	1	0	1	6	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	2	1	1	0	30
女	4	1	2	6	1	2	3	4	1	1	2	2	2	0	17	4	1	3	2	0	1	1	0	4	3	0	2	1	70	
計	5	2	2	10	1	4	3	5	1	3	4	3	2	1	23	5	1	3	2	1	2	1	1	5	5	1	3	1	100	

【特別養護老人ホーム 五日市ホーム】

⑤ 【退所状況】

月 退所理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
死亡(看取り)	3	2	1	8	0	3	2	2	12	1	3	1	38
死亡(入院)													0
長期入院										1		1	2
他施設													0
在宅													0
その他													0
計	3	2	1	8	0	3	2	2	12	2	3	2	40

⑥ 【外泊状況】 コロナ禍にて外泊中止中

月 外泊先	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自宅													0
子供宅													0
兄弟宅													0
孫宅													0
親類宅													0
友人宅													0
その他													0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑦ 【事故報告書(ヒヤリハット含む)】

月 発生種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転落・転倒	137	73	80	61	43	71	89	56	38	46	58	67	819
徘徊	0	1	2	0	3	0	0	0	0	5	0	0	11
皮下出血・皮膚剥離	17	17	21	6	11	13	16	13	4	4	3	12	137
裂傷・骨折	1(1)	5(1)	3(1)	2	2	0	1(1)	1(1)	1	0	0	0	16(5)
自傷・他害行為	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
配薬ミス	3	1	4	1	2	0	0	2	2	17	2	1	35
誤薬	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
異食	0	4	0	0	1	1	0	0	0	2	2	6	16
誤嚥	8	4	19	11	14	12	30	10	4	11	6	3	132
紛失	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3
器物破損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
その他	68	51	64	62	70	67	39	29	2	6	9	14	481
計	234(1)	156(1)	193(1)	143	147	171	175(1)	111(1)	51	92	80	109	1662(5)

※事故報告として市区町村へ届出たものについては()表示、詳細については別紙1に記載

【特別養護老人ホーム 五日市ホーム】

⑧【面会状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
令和2年度	13	0	14	69	68	73	52	89	93	17	6	22	516
令和3年度	40	14	36	43	21	34	73	83	79	67	17	29	536
令和4年度	65	93	90	91	54	75	67	46	24	3	18	90	716
月平均	39	36	47	68	48	61	64	73	65	29	14	47	589

※ 延べ来園者数

※ リモート面会含む

⑨【機能訓練回復状況】

月 訓練内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実人数	延人数
生活リハビリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
機能訓練	214	225	200	170	179	200	100	123	93	49	141	149	138	1,843
マッサージ	3	16	12	31	9	31	19	4	3	4	0	2	34	134
温熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価	42	40	30	13	63	41	39	14	17	31	41	40	100	411
趣味的活動	46	22	23	35	28	18	7	0	0	0	3	12	73	194
その他	21	14	9	18	20	16	13	7	0	0	8	10	29	136
計	326	317	274	267	299	306	178	148	113	84	193	213	374	2,718

【特別養護老人ホーム 五日市ホーム】

⑩【嘱託医による診療実績】

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	129	66	130	64	143	69	124	60	113	65	126	60	765	384
外科	1	1			1	1			1	1			3	3
整形外科	20	11	27	12	25	12	26	15	16	10	19	10	133	70
耳鼻咽喉科													0	0
眼科	15	8	14	6	13	6	16	7	20	8	13	6	91	41
皮膚科	7	5	8	5	15	6	7	5	5	3	5	3	47	27
婦人科													0	0
泌尿器科	7	4	5	2	2	2	3	3	5	4	2	2	24	17
精神科	14	8	16	7	17	8	10	4	13	7	9	4	79	38
神経科													0	0
歯科	19	16	17	13	23	18	19	15	15	11	20	16	113	89
その他	4	1	6	2	8	2	5	2	2	1			25	8
合計	216	120	223	111	247	124	210	111	190	110	194	101	1,280	677
区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	120	64	124	61	118	65	152	70	113	54	110	61	1,502	759
外科	1	1	1	1	0	0	2	1	0	0	1	1	8	7
整形外科	15	9	21	10	23	11	19	8	13	8	19	10	243	126
耳鼻咽喉科													0	0
眼科	18	7	19	6	15	7	14	5	11	6	7	4	175	76
皮膚科	2	2	5	2	3	2	2	2	15	5	13	6	87	46
婦人科													0	0
泌尿器科	9	4	7	3	6	3	10	4	5	4	5	3	66	38
精神科	14	6	16	6	13	8	18	7	16	11	18	11	174	87
神経科													0	0
歯科	12	9	23	17	10	8	10	6	17	15	19	15	204	159
その他	1	1			2	1			1	1			29	11
合計	192	103	216	106	190	105	227	103	191	104	192	111	2,488	1,309

【特別養護老人ホーム 五日市ホーム】

⑪【医療機関での診療状況:通院】

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		上半期合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科	2	2											2	2
外科													0	0
整形外科	7	4	3	2	2	2							12	8
耳鼻咽喉科													0	0
眼科													0	0
皮膚科			3	1	1	1							4	2
婦人科													0	0
泌尿器科	2	1			1	1							3	2
精神科													0	0
神経科													0	0
歯科													0	0
その他	2	1	3	2					1	1			6	4
合計	13	8	9	5	4	4	0	0	1	1	0	0	27	18
区分	10月		11月		12月		1月		2月		3月		年度合計	
	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数
内科					1	1							3	3
外科							5	3					5	3
整形外科	4	2	1	1									17	11
耳鼻咽喉科													0	0
眼科													0	0
皮膚科													4	2
婦人科													0	0
泌尿器科	1	1											4	3
精神科													0	0
神経科													0	0
歯科													0	0
その他	2	1	1	1			1	1					10	7
合計	7	4	2	2	1	1	6	4	0	0	0	0	43	29

【特別養護老人ホーム 五日市ホーム】

2【職員状況】

①【職員数】

雇用形 職種	令和4.4.1の職員数				令和4年度入退職状況								令和5.3.31の職員数									
	正職員	有期契約職員			実人員計	正職員	有期契約職員				入退職者差引計	有期契約職員					実人員計 (①+②+③+④)	常勤換算 (①+⑤)				
		準職員	非常勤職員	派遣職員			準職員	非常勤職員		派遣職員		①正職員	②準職員	③非常勤職員	④派遣職員	⑤常勤換算						
								入職	退職	入職									退職	入職	退職	
施設長	1															1	1.0					
相談員	2				1	1										2	2.0					
介護支援専門員	(1)															(1)	(1)					
介護士	24	2	14		3	5	2	2	6	6					-2	22	2	14	0	9.0	38	31.0
(うち、介護福祉士)	(21)		(8)		(1)	(2)			(2)	(3)					(-2)	(20)	(0)	(7)	(0)	(5.4)	(27)	(25.4)
看護師	3		1			1			2						1	2	0	3	0	2.1	5	4.1
栄養士	1														0	1	0	0	0		1	1.0
調理員	4		8						3	4					-1	4	0	7	0	3.2	11	7.2
事務員	2		2						3	2					1	2	0	3	0	2.6	5	4.6
操縦士・営繕			3												0	0	0	3	0	1.4	3	1.4
洗濯・清掃			3						2	1					1	0	0	4	0	2.3	4	2.3
嘱託医			2												0	0	0	2	0	0.1	2	0.1
機能訓練指導員	2		2												0	2	0	2	0	1.2	4	3.2
労働安全衛生担当者			1												0	0	0	1	0	0.7	1	0.7
その他			2							1					-1	0	0	1	0	0.4	1	0.4
学生アルバイト									10	4					6	0	0	6	0	2.2	6	2.2
計	40	2	37	0	80	4	7	2	2	26	18	0	0	5	36	2	45	0	25.2	85	61.2	

※常勤換算は3月末時点の数字である。

介護士入職内1名は介護支援専門員から介護職員へ移動

準職員2名は、正職員へ移動

学生アルバイトうち1名は特定技能介護への採用予定

②【職員研修】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外・内研修													
外部研修参加人数			1	1			1					1	4
Web研修参加人数	1		1	5	1	4	6	6	3	3	5	2	37
内部研修参加人数	124	124	125	100	121	60	114	52	0	0	0	52	872
計	125	124	127	106	122	64	121	58	3	3	5	55	913

【特別養護老人ホーム 五日市ホーム】

③【防災訓練】

月	訓練内容	参加人数	月	訓練内容	参加人数
4月	夜間帯の地震火災訓練	10	10月	地域合同防災訓練	10
5月	火災時の初動通報訓練	6	11月	火災時の消火訓練	8
6月	火災時の通報訓練	9	12月	コロナ禍にて実施できず。	0
7月	火災時の通報訓練	7	1月	夜間帯の火災 通報訓練	5
8月	ライフライン寸断想定ゴミ対応訓練	5	2月	夜間帯の火災 通報訓練	5
9月	地震火災を想定した総合避難訓練	15	3月	地域合同避難所開設訓練	6

I . 施設目標

令和4年度

昨年度は、新型コロナウイルス感染症発症により、2度にわたる事業休止を余儀なくされました。その経験と新たな課題を活かし感染症や災害発生時でも、ご利用者、ご家族、職員の安心・安全を第一に考え、ご利用者が在宅生活に必要なサービスが切れ目なく提供出来るよう体制を整えて参ります。また、ADL評価を継続し自立支援・重度化予防の取り組みを続け、在宅生活が継続出来るようサービスの充実を図って参ります。

① 感染症対策、業務継続に向けた取り組みの強化。

状況：

ご利用者の対策として、ご利用日前日の体調確認、乗車前の検温の継続、またサービス利用中は、体調を注意深く観察し感染症の早期発見に努めました。職員の対策として、PCR検査、抗原検査を継続し、下半期は感染症の発症なく事業継続が出来ました。

② 在宅生活が継続出来るよう支援する。

状況：

来所時の健康チェック、サービスご利用中に体調変化があった場合は、ご家族へ連絡し受診をお願いしました。お一人暮らしの方については、ケアマネジャーへ連絡し対応をお願いしました。ご利用継続していく中で、必要となってくるサービスについても、可能な限り対応し在宅生活が継続出来るよう支援をしました。

③ 専門職としての自覚を持ち質の高いサービスを提供する。

状況：

ご利用者の帰宅後に、職員が無理なく参加出来るよう研修を行いました。同じ研修を数回実施する事により、より多くの職員が参加する事が出来ました。ミーティングでは、業務中の気づきを発信、共有しサービスの質の向上に繋がられるよう努めました。

II . 目標達成へ向けた取り組み

① 事業継続計画書(BCP)の作成継続、見直しをする。

改善等コメント：

令和5年6月30日をもって事業廃止となります。ご利用者が新しい事業所へスムーズに移行して頂けるようサービスをつなぎ、ご利用者の在宅生活が継続出来るよう関係機関と連携を取っていきます。

② 身体機能の維持向上を目指した機能訓練活動の充実。

改善等コメント：

集団で行う機能訓練の継続、園外の散歩、買い物支援など個別の要望にも対応出来るよう努めます。

③ 職員がスキルアップを目指せるよう研修への参加を促していく。

改善等コメント：

日々の業務の中での疑問、気づきを職員で解決、共有しスキルアップを目指します。

④ 業務内容、各職員の自己評価を行う。

改善等コメント：

アンケート、自己評価の内容を次年度の計画に反映させ、質の高いサービス提供を行います。

Ⅲ . サービス計画

1 . 事務部門

① 経営(収支目標・稼働率目標)

収支目標	新規利用者年間20名を目指す。	
	登録人員にあった職員配置を行う。	
	洗濯や食器の洗浄時など、常に節水を心掛け光熱費の削減に努める。	
	状況:	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月31日現在 登録者数 84名 新規登録者数:23名、退所者:22名 (令和5年2月中旬以降、新規受け入れは行っていません。) ・長期のショートステイ利用や長期欠席が出た場合は、送迎ルートを見直し職員配置の変更を行い、人件費削減に努めました。 ・使用していない部屋の消灯、食器の洗浄、寝具洗濯時など節水、節電を心がけ、光熱費削減に努めました。
改善等コメント:	ご利用者の登録人数変更に柔軟に対応して行きます。 節水・節電を心がけ、日々の業務に取り組むよう努めます。	
稼働率目標	80%	
	状況:	令和4年度平均稼働率72.3% 目標稼働率には至りませんでした。
	改善等コメント:	令和5年6月30日をもって事業廃止となるため、新規受け入れは行っていません。

② 人事(採用・教育(施設内外研修を含む)・実習受入)

採用	職員配置の状況に応じて採用を検討する。	
	状況:	令和4年度職員採用は行っていません。
外部研修	オンラインを活用し研修へ参加する。研修内容を日常業務で活用するとともに、ケースに合わせた対応の指示・アドバイスをを行いサービスの質を確保する。	
	状況:	ご利用者帰宅後の時間を活用しオンライン研修へ参加しました。外部研修参加後は、報告を兼ね職員間で情報共有を行いました。

内部研修	事故予防・介護技術の向上、専門知識を身につける研修を行う。	
	状況:	ご利用者の転倒事故が上半期1件、下半期1件発生しました。事故発生時のご利用者への対応、職員の動き等研修を行い再発防止に努めました。
	安心・安全な送迎を行うため、安全運転研修を行う。	
	状況:	安全運転講習を10月に受講しました。ミーティング時に送迎ルートの確認をし、運行時の注意点など申し送り、安全運転に努めました。
実習受入	新型コロナウイルス感染症の発生状況をみながら受け入れていく。	
	状況:	社会福祉士1名受け入れを行いました。

③ 修繕計画

修繕計画	施設点検表を基に月1回点検を行う。	
	状況:	毎月定期的な点検を行いました。洗面台蛇口水漏れ、2ヶ所修理実施しました。

④ 防災

防災目標	火災・震災・自然災害の発生に備え、ご利用者が安全に避難・誘導が出来るよう避難訓練を行う(入浴サービス中の火災・地震を想定した訓練も行っていく)。	
	状況:	8月を除き、計画通り実施出来ました。

訓練計画	4月	地震を想定した訓練	10月	火災を想定した訓練
	5月	火災を想定した訓練	11月	自然災害を想定した訓練
	6月	自然災害を想定した訓練	12月	火災を想定した訓練
	7月	地震を想定した訓練	1月	地震を想定した訓練
	8月	火災を想定した訓練(休業の為実施なし)	2月	火災を想定した訓練
	9月	地震を想定した訓練	3月	地震を想定した訓練

2. 介護部門

① 基本サービス提供目標

食事	身体状況を把握し、ご利用者に応じた食事の提供・介助を行う。	
	状況:	嗜好状況、アレルギーなど把握し、身体状況に応じて代替食・刻み食・ミキサー食などの対応をしました。季節感を取り入れ、日々温かい食事を提供し高評価を頂いています。
排泄	羞恥心に配慮し身体状況に合った介助を行う。	
	状況:	プライバシーの保護に配慮し、付き添いが必要な場合は了解を得て介助を行いました。ベッド上で介助が必要な方には、安全安心に排泄が行えるよう、2名体制で対応しました。
入浴	個人の身体状況に合わせ、快適に入浴が出来るよう介助を行う。	
	状況:	入浴の開始時間を早め新規ご利用者の受入れも増やすことが出来ました。ご利用者の当日の体調に応じて看護師と連携し安全に入浴サービスを実施する事が出来ています。感染症予防の為、脱衣所、浴室の換気や消毒、環境整備に努めました。しょうぶ湯、ゆず湯等季節感を取り入れ、快適な時間となるよう努めました。

② 生きがいサービス提供目標

目標	多種・多様な趣味活動を取り入れ個別サービスの充実を図る。	
	状況:	令和4年度も新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たず、ボランティア講師の受入れは中止となりました。季節に合わせた行事、ゲーム、レクリエーション活動、また新たな取り組みとして、オンラインによる体操、音楽活動を取り入れ、ご利用者の活性化を図りました。創作活動では、職員が協力し新しい活動を取り入れ作品作りを行いました。

行事計画	実施月	行事名	実施月	行事名
	毎月	誕生会	11月	デザートバイキング
	4月	桜見学		紅葉見学
	5月	新緑見学	12月	クリスマス会
		テーブルホッケー大会	1月	新年を祝う会
	6月	デザートバイキング		初詣(実施なし)
	7月	納涼お楽しみ会		初釜(実施なし)
	8月	納涼お楽しみ会	2月	節分
	9月	長寿を祝う会		デザートバイキング
	10月	運動会	3月	ゲーム大会

趣味活動計画	活動内容	指導ボランティア名	活動内容	指導ボランティア名
	パンフラー	堀田佳子(実施なし)	書道	上村美佐子(講師なし)
	茶道	峰尾カツ子(講師なし)		
	唱歌	阿部けさじ・長谷川康子・伊藤涼子・深沢勝子(実施なし)		
	職員による活動			
	刺し子、押し絵、パウダーアート、木目込み、貼り絵(カレンダー作り)、籐手芸 ぬり絵、レクリエーション、折り紙、ペン習字、つまみ細工、リハビリ音楽			

外出活動	外出活動を通して機能訓練に繋げ、サービスの充実に努める。	
	状況:	桜、梅、新緑など季節ごとにドライブに出かけました。天気の良い日は、近隣への散歩、外出支援としてスーパーへ買い物に出かけました。

③ 安全への取組

取組内容	体調に注意をはらい、ご利用者個々の身体状況に合わせた入浴介助を行う。	
	状況:	ご利用者の身体状況に合った入浴方法等職員間で話し合い、浴槽の変更、福祉機器を使用する事で安全に入浴頂きました。また、当日の体調により看護師指示のもと安全に入浴出来るよう介助を行いました。
	安全運転を心がけ、ご利用者個々の状態や地理的状況等を考慮した送迎を行う。	
	状況:	道路状況・ご利用者の身体状況に合わせ送迎を実施しました。バックする際は、必ず降車し後方を確認、ドライバーと連携を図り安心して乗車出来るよう努めました。
	送迎車輛や入浴リフトの定期的な点検を行い、ご利用者の安全確保に細心の注意をはらう。	
	状況:	入浴リフトの点検を5月に実施しました。送迎車両のタントはエンジンプラグの交換と修理をし、ハイエースはリフトリモコンの修理を行いました。
	施設内の掃除・衛生を保持し、ご利用者が快適に過ごせるように努める。	
状況:	毎日の室内清掃、要所での消毒作業、食器類の消毒、寝具の洗濯など衛生面での管理を行い清潔保持に努めました。	

3. 看護部門

① 健康管理

健康管理目標	常にご利用者の身体状態を観察し緊急時の早期発見・対応に努める。	
	状況:	ご利用者の様子を注意深く観察し、体調不良等見られた場合はご家族に連絡し、自宅での様子を確認しました。必要に応じてケアマネ、訪問看護と連携し健康管理に努めました。
	新型コロナウイルス感染症対策を中心に、手洗い・マスクの着用・消毒を徹底し感染症予防に努める。	
	状況:	ご利用者に手洗い・マスクの必要性を分かりやすく説明しました。共用で使用する物は、時間を決めて消毒を行い感染症予防に努めました。
	口腔体操や口腔ケアを行い口腔機能の維持・向上を図る。	
	状況:	飲み込みに必要な上肢姿勢の維持、良く嚙むための体操などを取り入れ、口腔体操を行いました。食後には、ご利用者全員の口腔ケアを実施し、口腔機能の維持・向上に努めました。
	医療対応が必要なご利用者に対し身体状況の把握、各関係機関と連携をとり的確な対応を行う。	
	状況:	在宅酸素使用のご利用者4名。朝のお迎え時、電源と酸素残量の確認を行いました。酸素ボンベの交換は職員2名で行いました。
	自己管理が難しいご利用者の服薬管理を的確に行う。	
状況:	お薬手帳などを持参して頂き、服薬管理表を作成しました。職員2名で確認を行い誤薬なく対応しました。	

② 機能訓練

機能訓練目標	在宅での生活が継続できるよう個々に合った機能訓練活動を行う。	
	状況:	ご自宅での生活状況を把握し、個々の身体状況に合わせて無理なく訓練を行いました。
	定期的な体力測定を実施し身体状態を把握する。	
	状況:	要支援の方は2～3か月ごと、要介護の方は半年ごとに体力測定を行い、身体状況の把握を行いました。
	活動に参加する事で手先を使い機能訓練・脳の活性化を図る。	
	状況:	一人ひとりの持っている能力が発揮できるよう、作業工程を工夫し作品作りに取り組みました。また作品を完成させる事で達成感が得られるよう支援を行いました。楽しみながら体が動かせるよう、リハビリ音楽、レクリエーション等を実施しました。
	身体状況を把握し機能訓練計画書の作成、自立支援・重度化予防を図る。	
状況:	定期的な体重測定、生活状況、身体状況等の聞き取りを行い計画書を作成、訓練を実施しました。	

4. 栄養部門

① 基本食事サービス

基本食事サービス目標	ご利用者個々の口腔の状態、嗜好状況、アレルギー等の把握を行い、代替食、刻み食、ミキサー食、粥食等の形態及び食事用具の検討と対応を行う。	
	状況:	ご利用開始前に嗜好状況等確認し、お食事を提供しました。また、当日の体調に合わせ、お食事が召し上がれるよう、お粥、代替食、刻み食等対応しました。
	昼食摂取量等に注意し問題点は栄養課へ報告し検討・対応を行う。	
	状況:	食事の様子を観察しながら、摂取量に低下が見られた場合、多職種で連携し食形態や用具の変更など対応をしました。定期的に体重測定を行い、変化が見られた場合はケアマネジャー、ご家族へ報告を行いました。
	月1回の栄養課会議へ出席し意見交換を行う。	
	状況:	栄養課会議への出席が難しい場合は、事前に要望を伝え情報の共有を行いました。

② 特別(行事等)食事サービス

基本食事サービス目標	季節に応じた行事食を提供し楽しんで食事をして頂く。	
	状況:	創立記念日・長寿を祝う会・新年を祝う会・ひな祭りで行事食を提供しました。
基本食事サービス目標	感染症対策に留意し栄養課と連携を取りながら、調理実習や行事食について計画・実施する。	
	状況:	感染症対策を行いながら、デザートバイキングを実施しました。

【デイホーム むつみの園】

1【利用者状況】

①【利用者数:3ヶ年推移】

定員 月～土:30名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
令和4	令和2年度	651	678	742	805	772	773	787	768	705	702	686	780	737.42
	令和3年度	731	0	667	676	692	714	710	695	699	419	0	609	551.00
	令和4年度	611	633	629	572	326	504	542	579	555	527	569	618	555.42
	月平均	664.33	437.00	679.33	684.33	596.67	663.67	679.67	680.67	653.00	549.33	418.33	669.00	614.61

②【稼働率:3ヶ年推移】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度平均
令和4	令和2年度	57.10	58.10	65.00	68.20	66.20	67.80	67.50	68.20	64.90	66.20	64.70	66.10	65.00
	令和3年度	66.40	0.00	58.50	58.20	59.30	62.60	60.90	60.90	63.50	39.50	0.00	51.60	48.45
	令和4年度	78.30	84.40	80.60	73.30	40.20	64.60	69.40	74.20	74.00	73.10	79.00	76.20	72.28
	月平均	67.27	47.50	68.03	66.57	55.23	65.00	65.93	67.77	67.47	59.60	47.90	64.63	61.91

※稼働率の式: 月延べ利用者数/(定員×稼働日数)

③【介護度別登録者状況】

性別 介護度	令和4.4.1現在人員			入所者		退所者		令和5.3.31現在人員		
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	1	6	7	0	2	1	3	0	5	5
要支援2	1	8	9	1	2	2	3	0	8	8
要介護1	3	35	38	2	10	1	12	4	33	37
要介護2	4	15	19	2	10	4	9	2	16	18
要介護3	0	7	7	2	3	0	1	2	9	11
要介護4	0	3	3	0	2	0	1	0	4	4
要介護5	1	1	2	0	1	1	0	0	2	2
計	10	75	85	7	30	9	29	8	76	84
平均介護度	1.60	1.37	1.40					1.75	1.55	1.57

*(新規登録者・退所者の人数には介護度変更含む)

④【ご利用者の年齢状況】

令和5.3.31現在

性別	年齢	～59才	60～64才	65～69才	70～74才	75～79才	80～84才	85～89才	90～94才	95～99才	100～104才	105～	計	平均年齢
	男		0	1	0	0	0	1	3	2	1	0	0	8
女		0	0	2	0	3	18	26	19	6	2	0	76	88才
計		0	1	2	0	3	19	29	21	7	2	0	84	88才
%		0.0	1.2	2.4	0.0	3.6	22.6	34.5	25.0	8.3	2.4	0.0	100.0	—

最高年齢 男性 95才
女性 103才

【デイホーム むつみの園】

⑤【事故報告書(ヒヤリハット含む)】

月 発生種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転落・転倒				2	1(1)							1(1)	4(2)
徘徊													
皮下出血・皮膚剥離		1						1				1	3
裂傷・骨折													
自傷・他害行為													
配薬ミス													
誤薬													
異食													
誤嚥													
紛失													
器物破損													
その他			2		9(8)		3	3	1	1	2	2	23(8)
計	0	1	2	2	10(9)	0	3	4	1	1	2	4(1)	30(10)

※事故報告として市区町村へ届出たものについては()表示、詳細については別紙1に記載

※職員に係る事故報告として市区町村へ届出たものは件数から除く(別紙1には記載)

⑥【活動状況】

月 行事内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	参加人数
散策ドライブ	52						7	24					83
誕生会	69	75	54	46	42	74	69	37	71	59	46	72	714
創立記念日				23									23
テーブルホッケー大会		68											68
納涼祭				19	32								51
長寿を祝う会						59							59
運動会							18	51					69
クリスマス会									66				66
新年を祝う会										65			65
節分											23		23
ゲーム大会												68	68
散歩	8											2	10
その他			23					21			22	12	78
計	129	143	77	88	74	133	94	133	137	124	91	154	1,377

⑦【入浴状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	人数
入浴回数	207	229	233	224	110	189	200	218	218	201	234	260	2,523
							-	-	-	-	-	-	0
計	207	229	233	224	110	189	200	218	218	201	234	260	2,523

【デイホーム むつみの園】

別紙1

【事故報告書】

令和4年度 事業報告書

	発生年月日	ご利用者氏名 (イニシャル)	性別	年齢	発生種別	発生場所	原因	対応 (施設賠償保険等の請求をした場合は、その旨記載)
1	令和4年8月1日	S・Y	女性	65	その他(感染症)	その他(不明)	感染経路不明	8月2日～8月11迄自宅療養となる
2	令和4年8月5日	S・K	女性	85	転倒	ホール内	歩行時つまずき転倒	救急車要請搬送となり、骨折等 はみられなかった為、自宅へ戻ら れる
3	令和4年8月8日	N・T	女性	88	その他(感染症)	その他(不明)	感染経路不明	8月8日～8月18迄自宅療養となる
4	令和4年8月8日	N・T	男性	93	その他(感染症)	その他(不明)	感染経路不明	8月8日～8月18迄自宅療養となる
5	令和4年8月8日	T・Y	女性	99	その他(感染症)	その他(不明)	感染経路不明	8月7日自宅で体調不良となり、 救急車対応、入院となる
6	令和4年8月8日	M・N(職員)	女性	54	その他(感染症)	その他(施設内)	施設内感染	8月9日～8月18日迄自宅療養となる
7	令和4年8月20日	H・T	女性	95	その他(感染症)	その他(不明)	感染経路不明	8月22日～8月31日まで事業休止 定期的な連絡・状況確認
8	令和4年8月21日	Y・K	女性	90	その他(感染症)	その他(施設内)	施設内感染	8月22日～8月31日まで事業休止 定期的な連絡・状況確認
9	令和4年8月24日	K・T	女性	91	その他(感染症)	その他(施設内)	施設内感染	8月22日～8月31日まで事業休止 定期的な連絡・状況確認
10	令和4年8月24日	A・S	女性	93	その他(感染症)	その他(不明)	感染経路不明	8月22日～8月31日まで事業休止 定期的な連絡・状況確認

